

**令和元年度
人権問題に関する市民意識調査報告書**

**令和2年1月
袋井市**

目次

I. 調査概要	1
調査目的	1
調査設計	1
回収結果	1
報告書を見る際の注意事項	1
II. 調査結果	3
回答者属性	3
基本的なこと	5
広く人権の問題について	8
個々の人権問題について	17
人権啓発・人権教育全般について	47
III. 調査票	55

I. 調査概要

調査目的

袋井市の人権尊重の定着意識を把握し、今後の人権啓発・人権教育に関する施策の基礎資料とするため実施しました。

調査設計

調査対象：袋井市に在住する18歳以上の方

調査方法：郵送配布・郵送回収

調査期間：令和元年11月29日（金）～令和元年12月13日（金）

回収結果

発送数：2,000通

回収数：713通

有効回収数：712通

有効回収率：35.6%

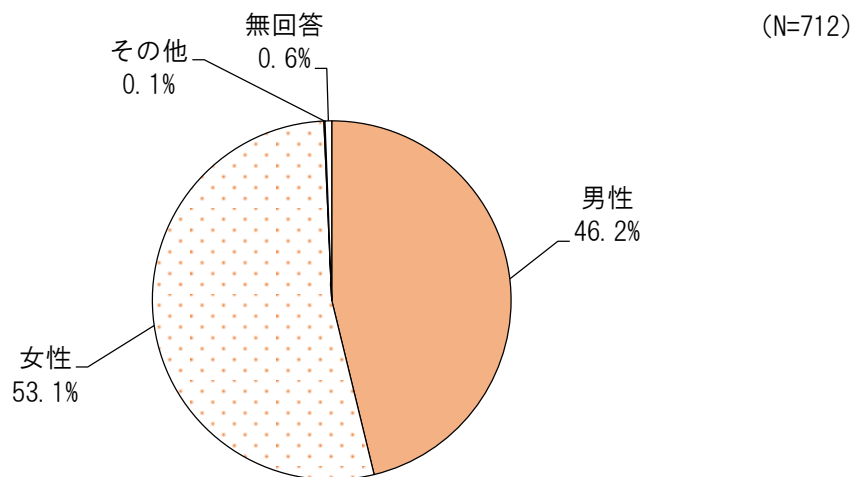
報告書を見る際の注意事項

- ・基数となるべき実数は調査数Nとして記載しています。
- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- ・設問や選択肢の文字数が多い場合、省略していることがあります。
- ・性別を問う設問については、性的少数者等への配慮の観点から、選択肢に「その他」を設けました。今回の調査では「その他」の回答者数が少ないため、集計結果では「男性」「女性」の2区分で記載しています。

II. 調査結果

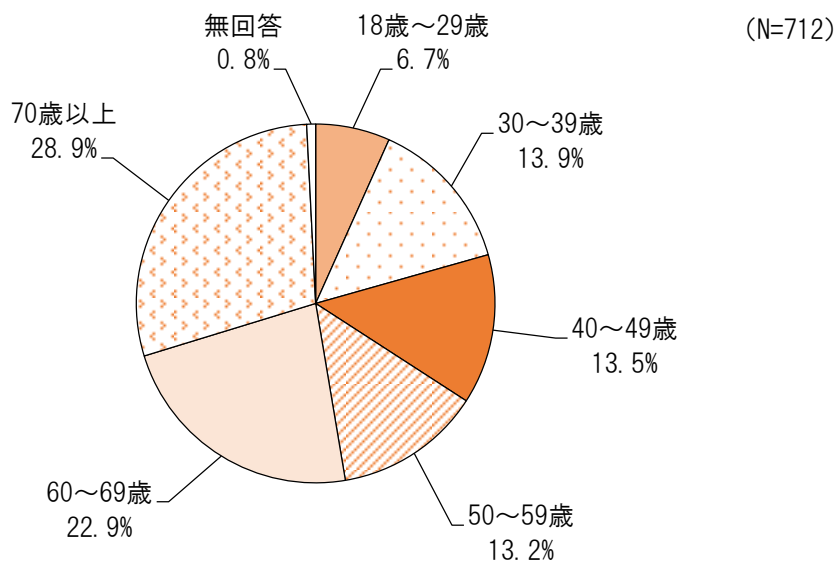
回答者属性

1 性別



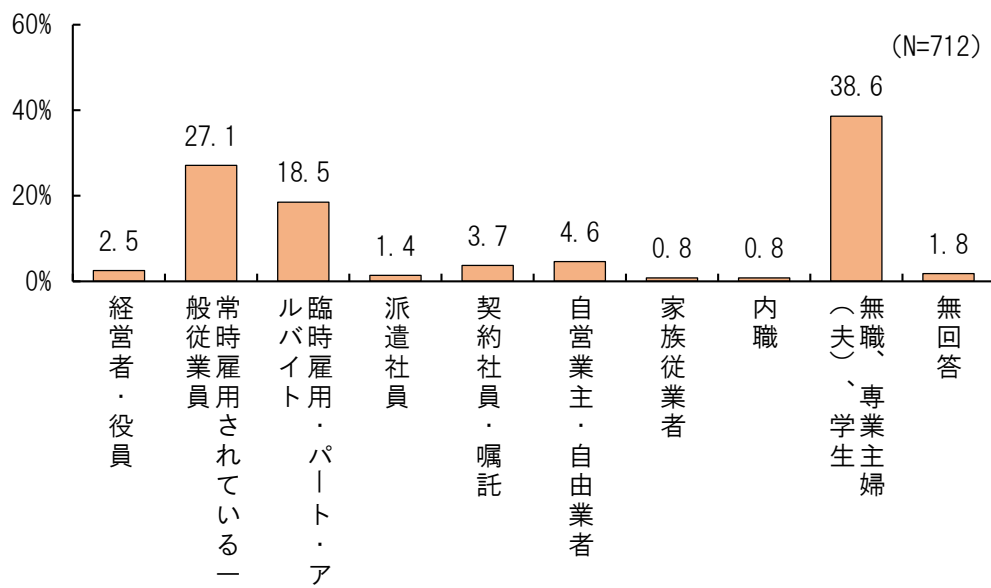
性別は、「男性」が46.2%、「女性」が53.1%、「その他」が0.1%となっています。

2 年齢



年齢は、「70歳以上」が28.9%と最も多く、次いで「60~69歳」が22.9%、「30~39歳」が13.9%などとなっています。

3 職業

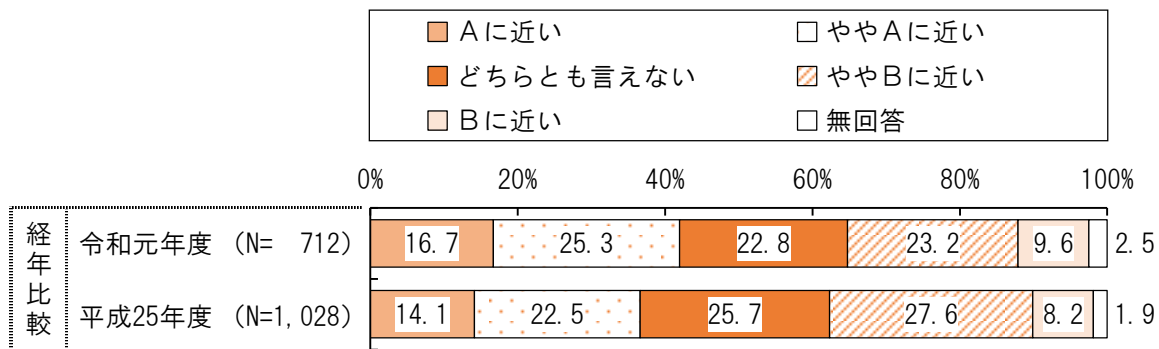


職業は、「無職、専業主婦（夫）、学生」が38.6%と最も多く、次いで「常時雇用されている一般従業員」が27.1%、「臨時雇用・パート・アルバイト」が18.5%などとなっています。

基本的なこと

問1 あなたはどんな社会が望ましいとお考えですか。(〇はそれぞれ1つ)

A：みんなが平等の社会がいい。 B：自由に競争できる社会がいい。

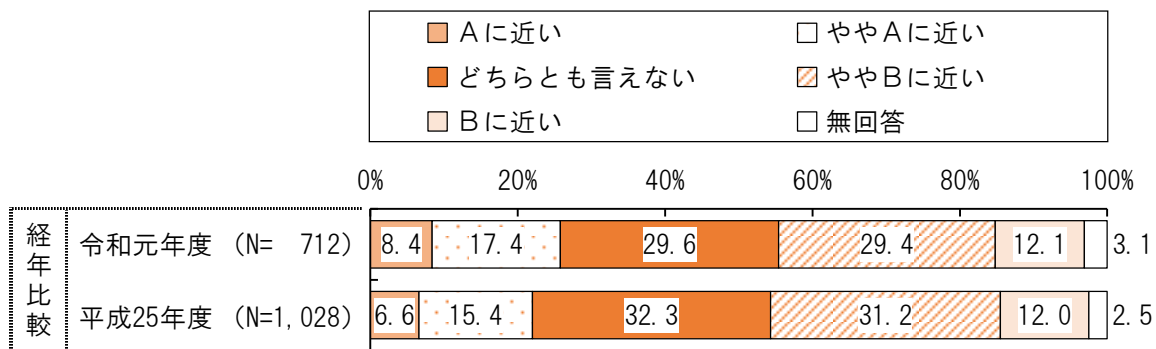


「ややAに近い」が25.3%と最も多く、次いで「ややBに近い」が23.2%、「どちらとも言えない」が22.8%などとなっています。また、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は42.0%、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は32.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は5.4ポイント増加しています。

問1 あなたはどんな社会が望ましいとお考えですか。(〇はそれぞれ1つ)

A：みんな同じと思える人たちと暮らしたい。 B：いろんな違いをもった人たちと暮らしたい。

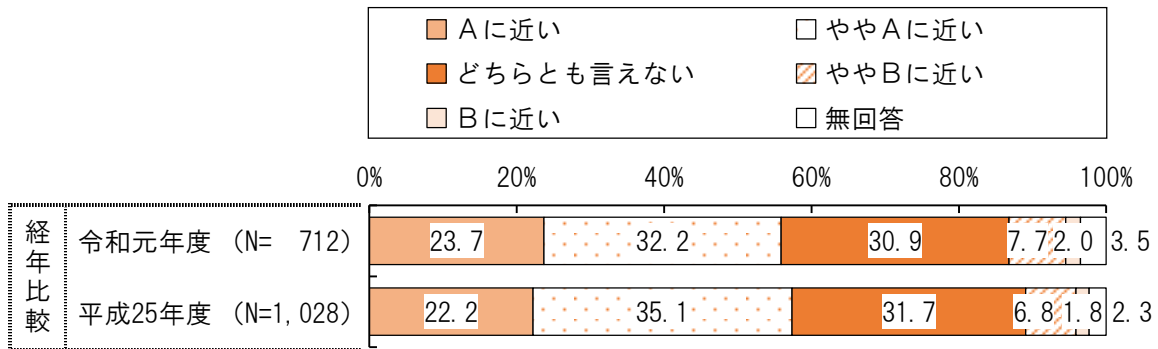


「どちらとも言えない」が29.6%と最も多く、次いで「ややBに近い」が29.4%、「ややAに近い」が17.4%などとなっています。また、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は25.8%、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は41.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は3.8ポイント増加しています。

問2 自分たちとは生まれや育ちが違う人たちに対してどのようにお考えですか。
(○はそれぞれ1つ)

A：みんなで共に暮らしたい。 B：自分とは別のところで暮らしてほしい。

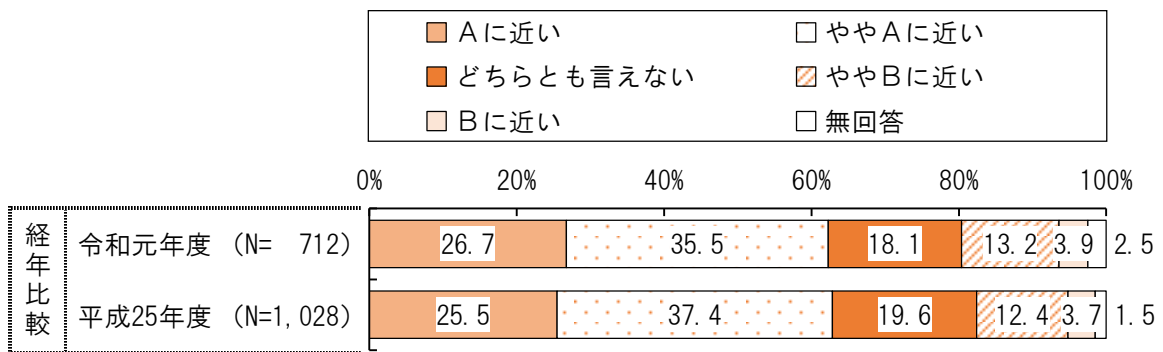


「ややAに近い」が32.2%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が30.9%、「Aに近い」が23.7%などとなっています。また、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は55.9%、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は9.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は1.4ポイント減少しています。

問2 自分たちとは生まれや育ちが違う人たちに対してどのようにお考えですか。
(○はそれぞれ1つ)

A：お互いの違いを認め合って共に生きていきたい。 B：できるだけまわりのみんなに合わせてほしい。

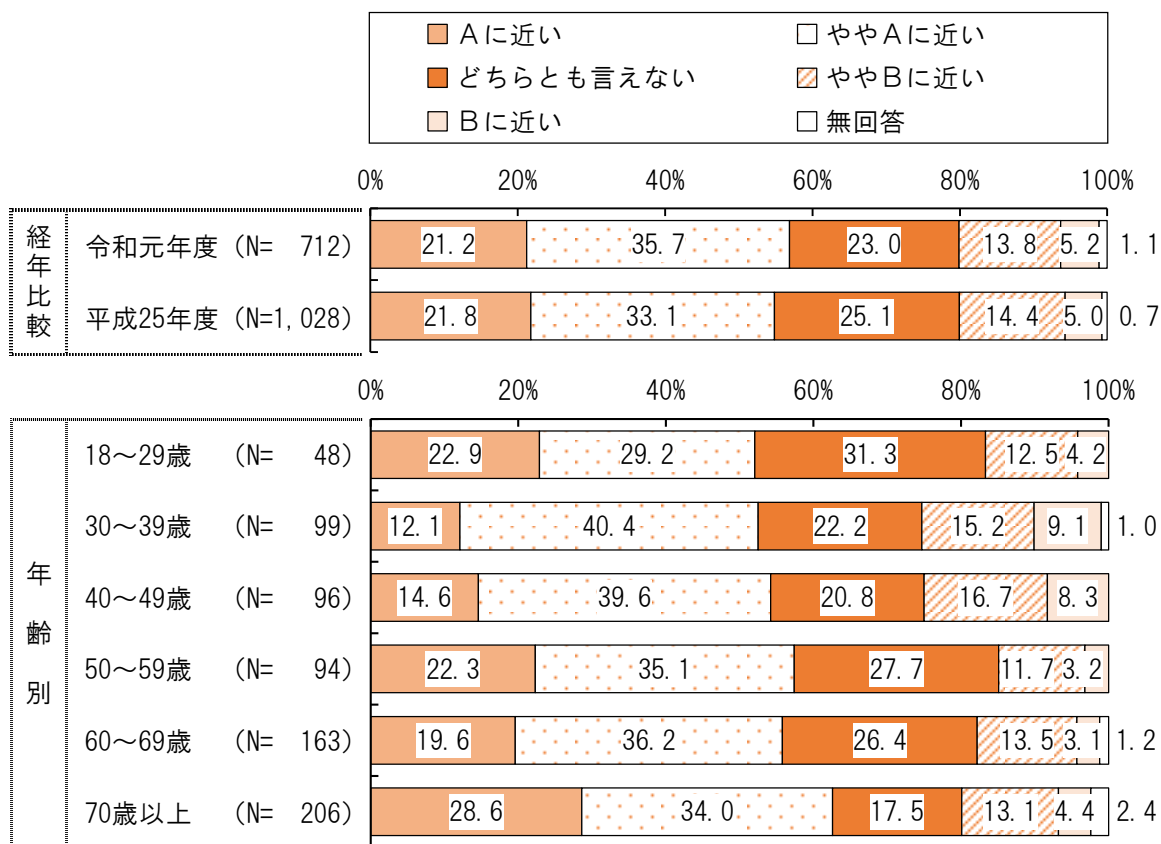


「ややAに近い」が35.5%と最も多く、次いで「Aに近い」が26.7%、「どちらとも言えない」が18.1%などとなっています。また、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は62.2%、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は17.1%となっています。

どちらも平成25年度調査と比較して大きな差異は見られません。

問3 暮らしに困っている人たちに対してどのようにお考えですか。(〇は1つ)

A：社会全体で助けるのがいい。 B：自分の責任でがんばってほしい。



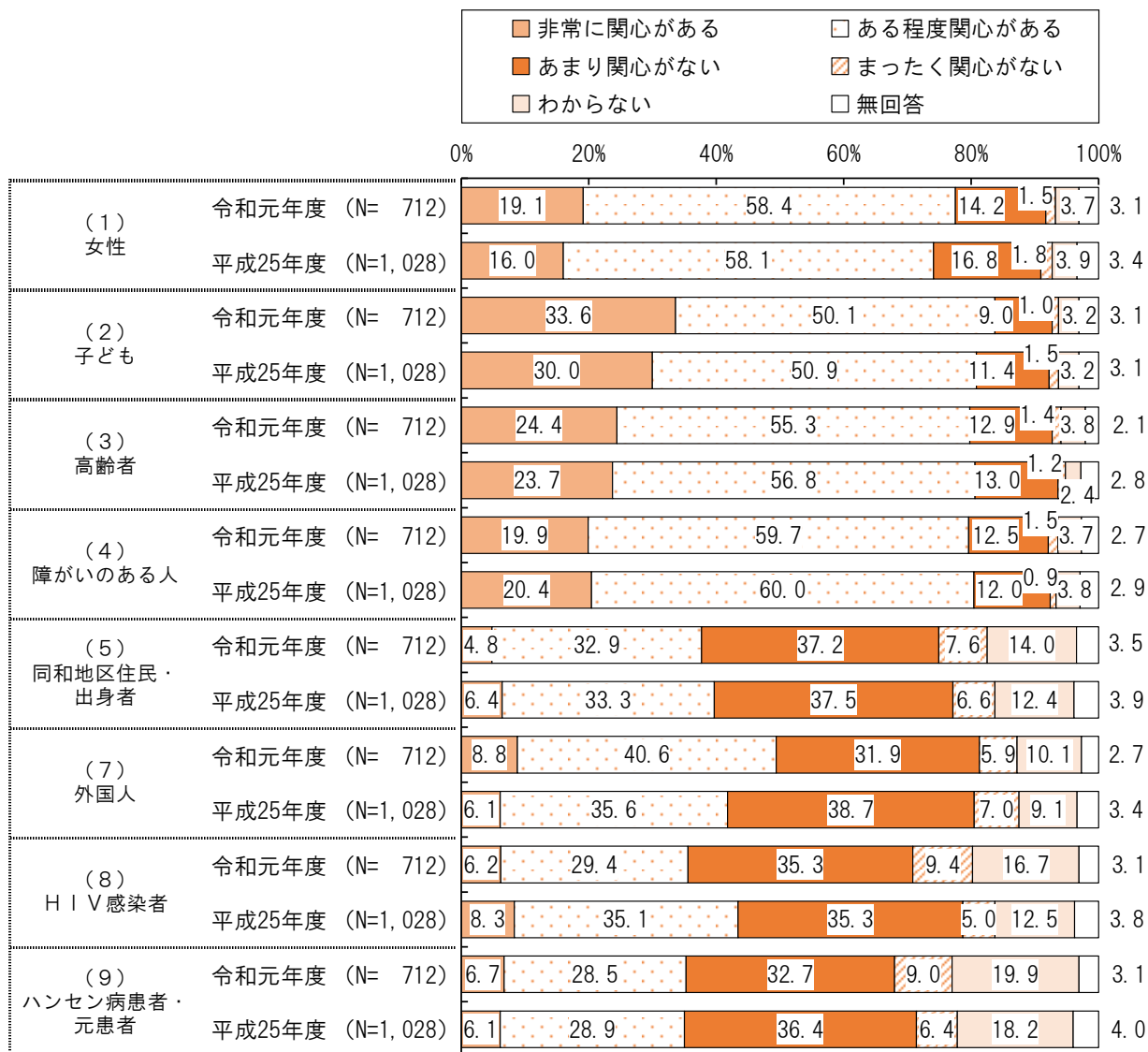
「ややAに近い」が35.7%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が23.0%、「Aに近い」が21.2%などとなっています。また、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は56.9%、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は19.0%となっています。

年齢別にみると、「Aに近い」と「ややAに近い」の合計は、70歳以上が62.6%と最も高く、「ややBに近い」と「Bに近い」の合計は、40～49歳が25.0%、30～39歳が24.3%と他の年代に比べ高くなっています。

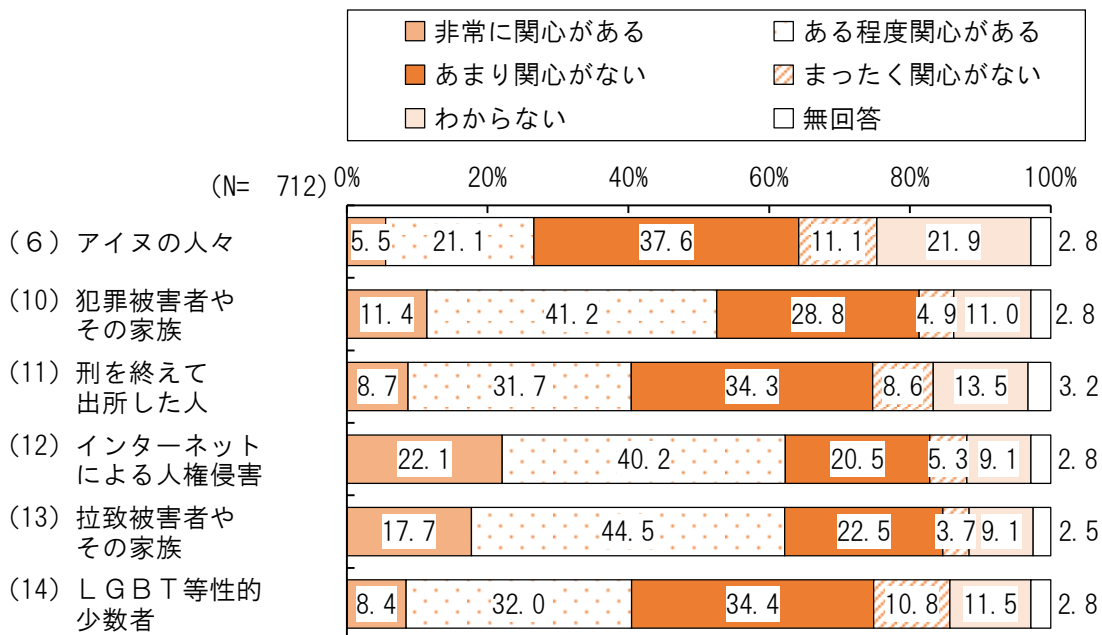
広く人権の問題について

問4 次の(1)～(14)の人権問題についてどの程度関心がありますか。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)(1)～(14)以外に関心をお持ちの人権問題がある場合は、(15)に、具体的な内容について、ご記入ください。

■経年比較■

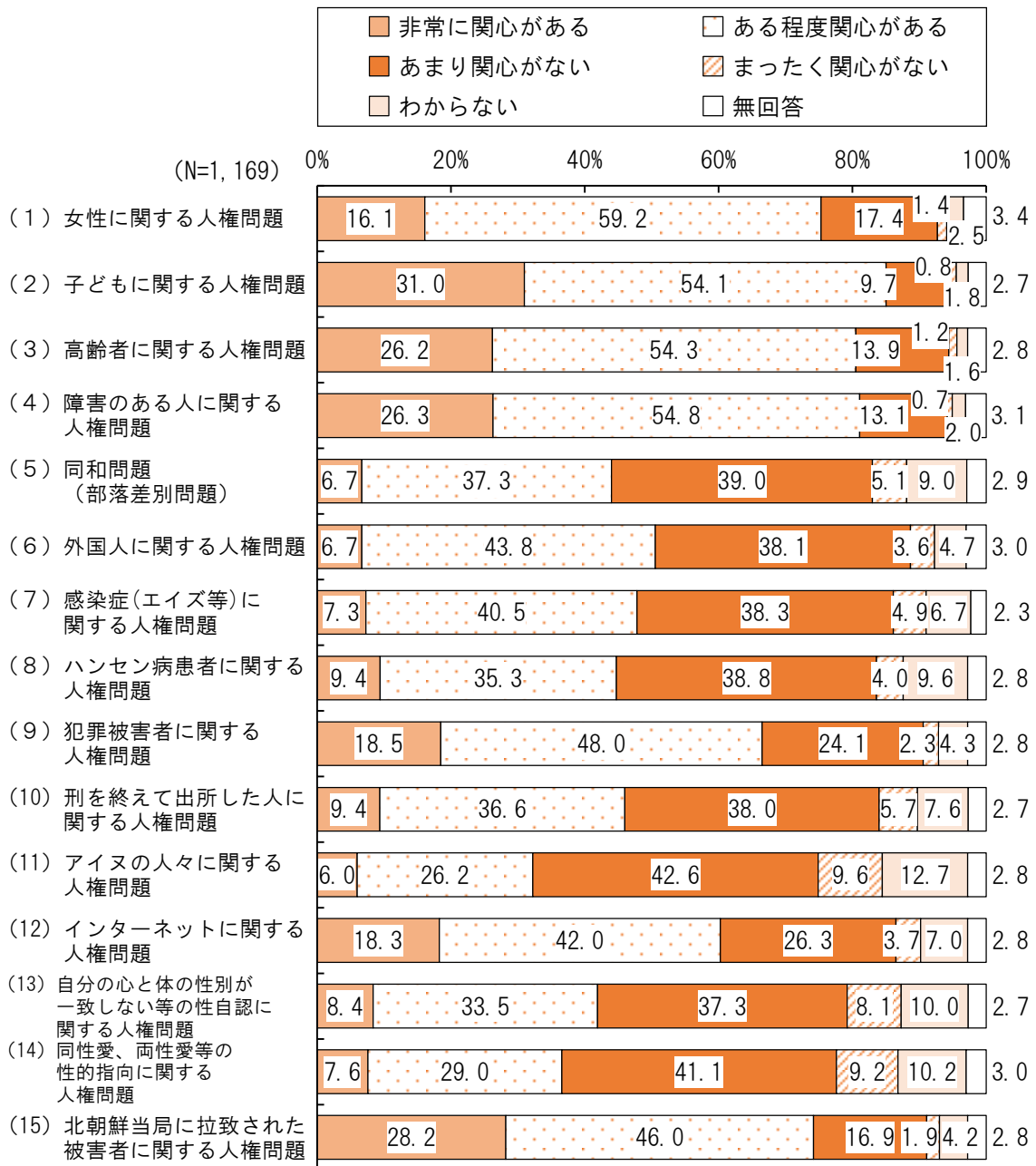


■令和元年度■



「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」の合計は、「子ども」が83.7%と最も高く、次いで「高齢者」が79.7%、「障がいのある人」が79.6%、「女性」が77.5%となっています。平成25年度調査と比較すると、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」の合計は、「外国人」が7.7ポイント、「女性」が3.4ポイント、「子ども」が2.8ポイント増加しています。

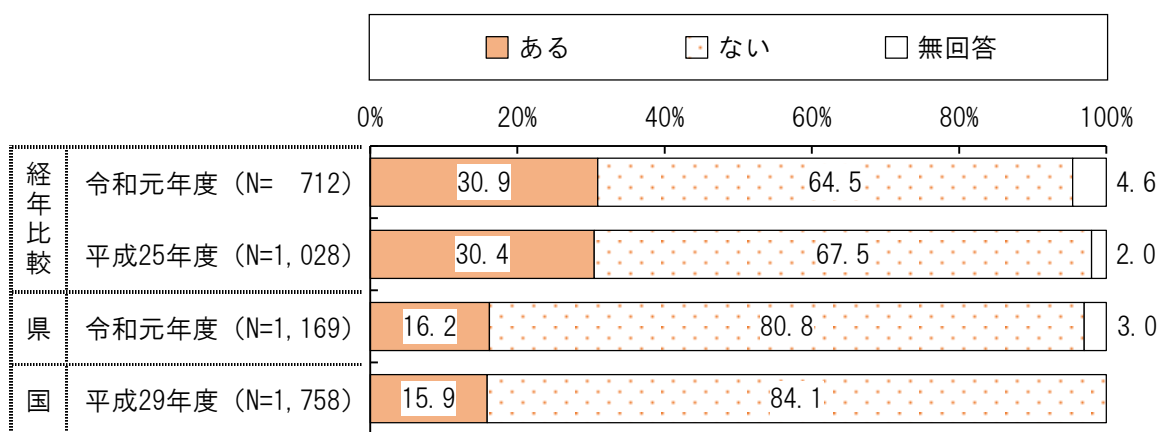
■静岡県 令和元年度■



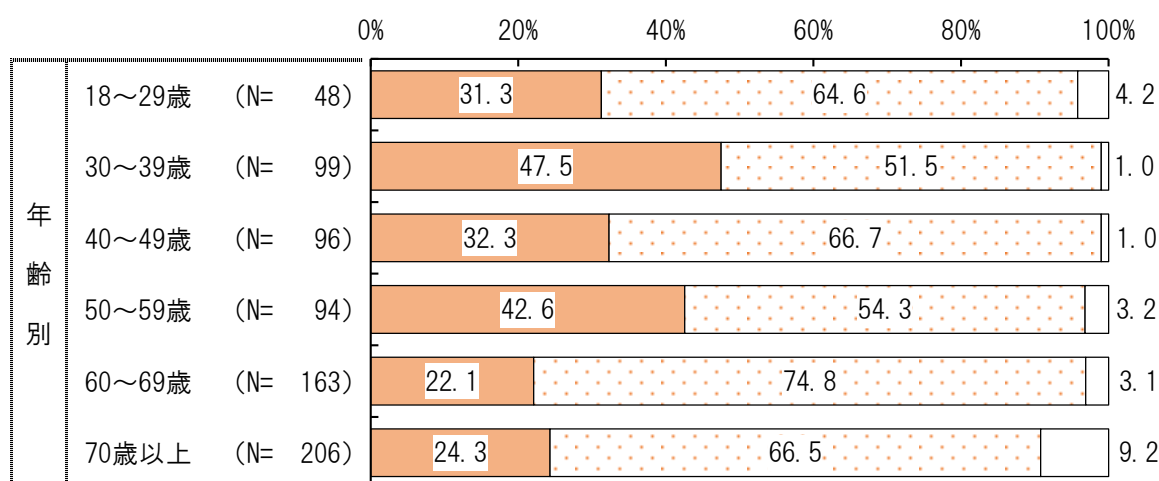
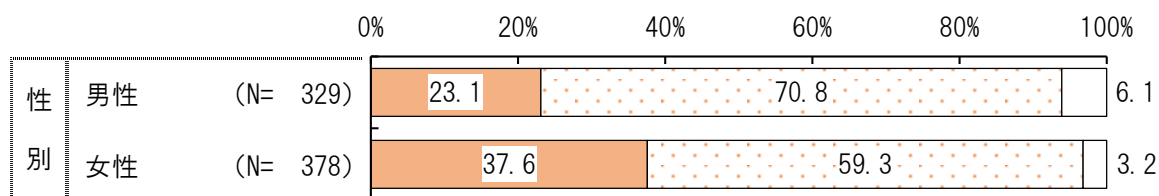
※県の調査結果は袋井市の項目と類似する調査項目を抜粋して掲載しています。

令和元年6月に静岡県が実施した人権問題に関する県民意識調査の結果と比較すると、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」の合計は、市が静岡県に比べて「女性に関する人権問題」は2.2ポイント、「インターネットに関する人権問題」は2.0ポイント上回っています。また、「犯罪被害者に関する人権問題」は13.9ポイント、「感染症(エイズ等)に関する人権問題」は12.2ポイント下回っています。

問5 あなたはこれまで自分の人権が侵害されたと思っただことがありますか。(〇は1つ)



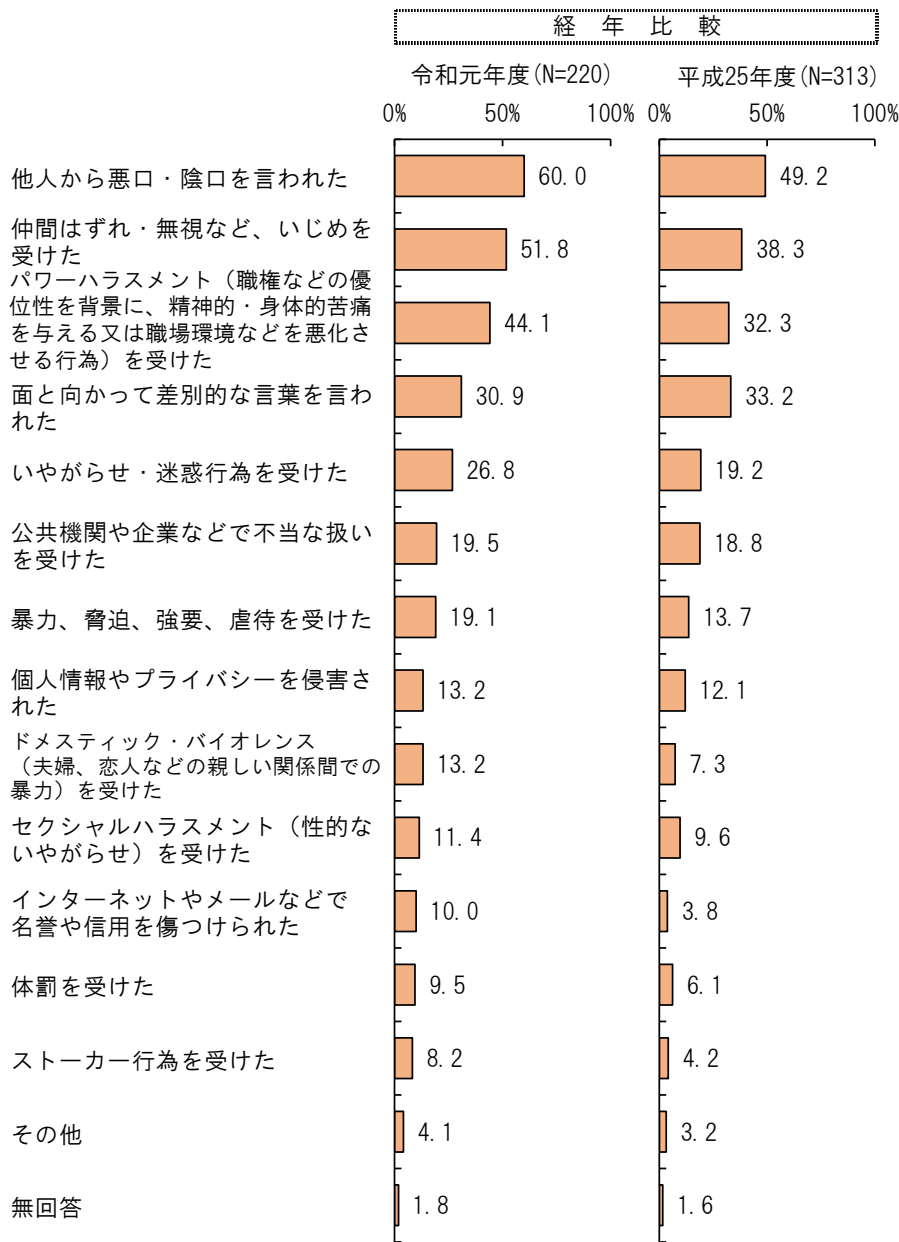
※県の調査結果は過去5年間における人権侵害の有無についての設問です。
 ※国の調査結果は無回答者を除いて集計しています。



平成25年度調査と比較すると、「あり」に大きな差異は見られませんが、「ない」は3.0ポイント減少しています。
 「あり」が静岡県に比べて14.7ポイント、国に比べて15.0ポイント上回っています。
 性別で見ると、女性が男性に比べて14.5ポイント上回っています。
 年齢別で見ると、30～39歳が47.5%で他の年代と比べ高くなっています。

問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします

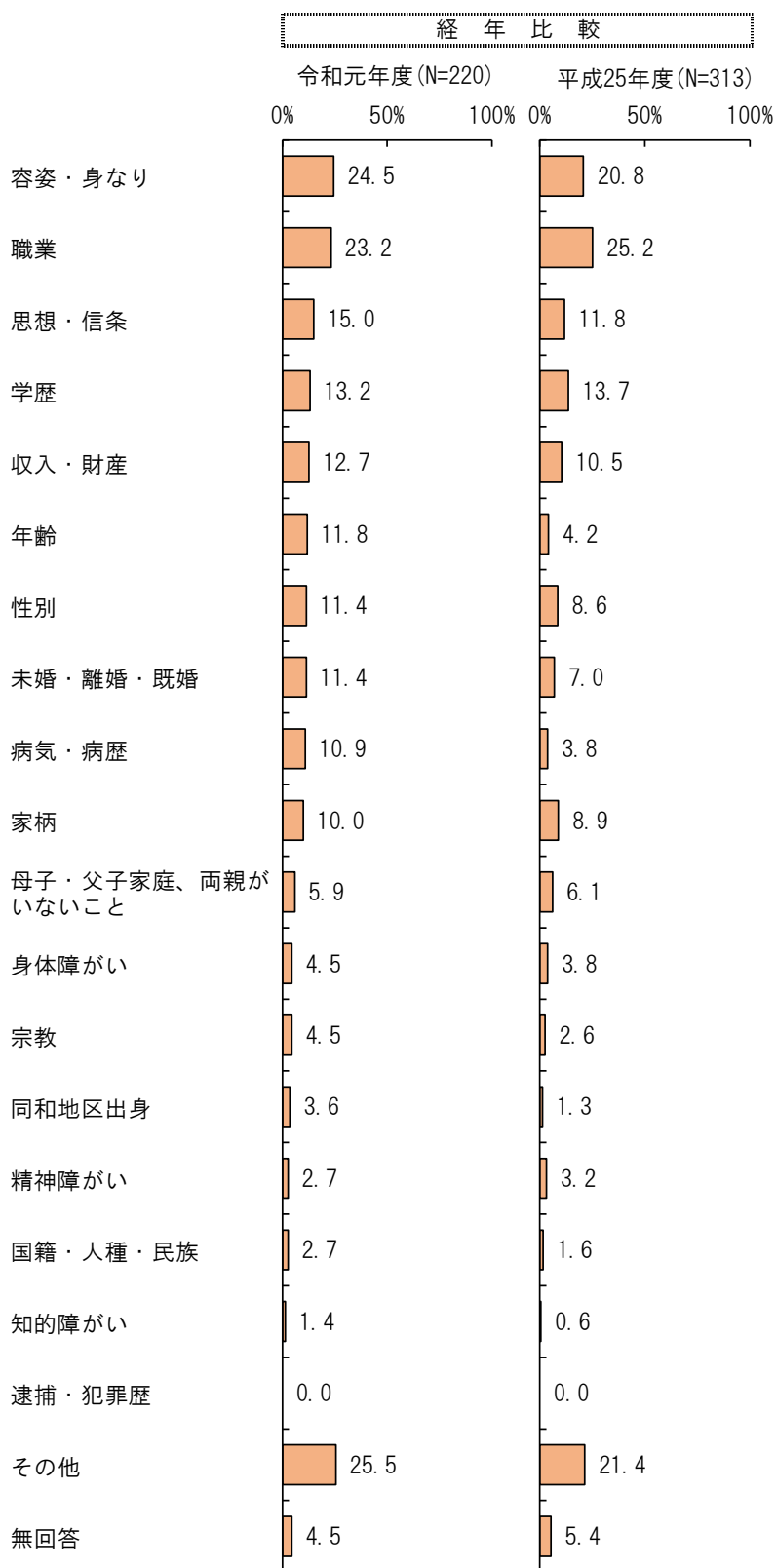
問5-1 人権侵害であると感じたのはどのような行為ですか。（当てはまるものすべてに○）



「他人から悪口・陰口を言われた」が60.0%と最も多く、次いで「仲間はずれ・無視など、いじめを受けた」が51.8%、「パワーハラスメント（職権などの優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境などを悪化させる行為）を受けた」が44.1%などとなっています。

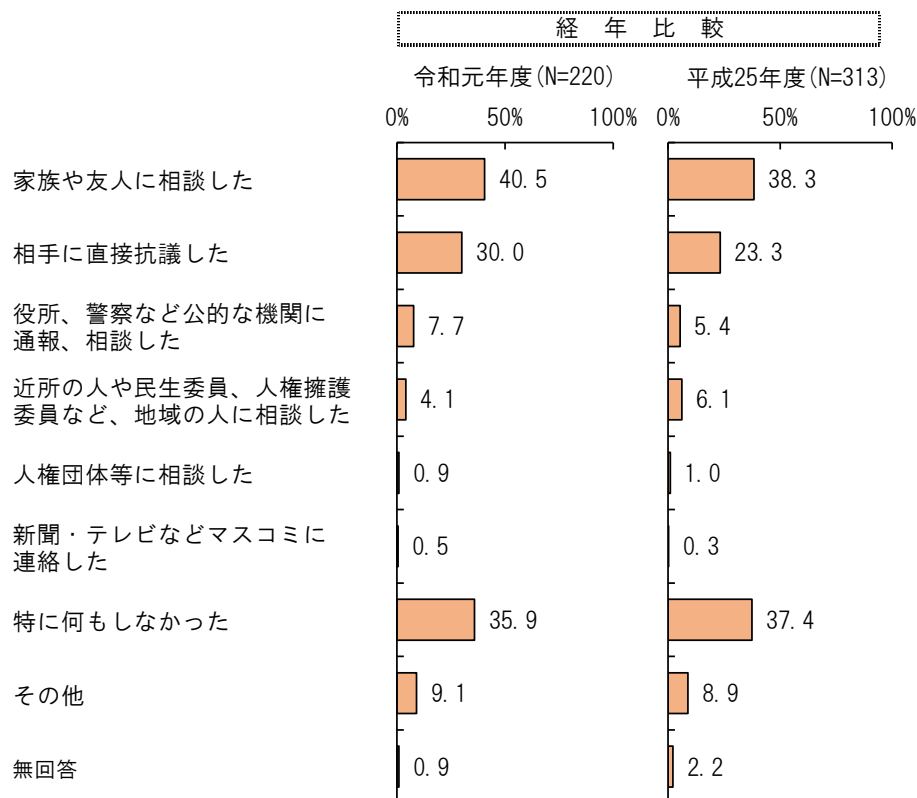
平成25年度調査と比較すると、「仲間はずれ・無視など、いじめを受けた」が13.5ポイント、「パワーハラスメント（職権などの優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境などを悪化させる行為）を受けた」が11.8ポイント増加し、「面と向かって差別的な言葉を言われた」が2.3ポイント減少しています。

問5-2 それほどの理由によるものでしたか。(当てはまるものすべてに○)



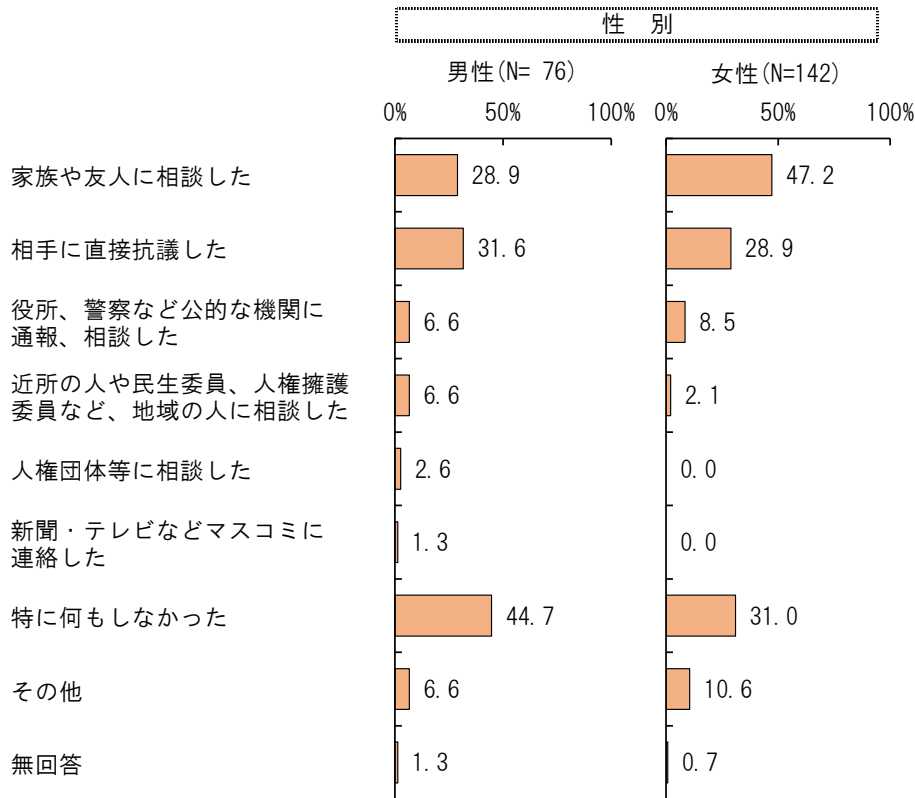
「その他」が25.5%と最も多く、次いで「容姿・身なり」が24.5%、「職業」が23.2%などとなっています。
 平成25年度調査と比較すると、「年齢」が7.6ポイント、「病気・病歴」が7.1ポイント増加し、「職業」が2.0ポイント減少しています。

問5-3 自分の人権を侵害されたと思ったとき、あなたはどのような行動をとりましたか。
(当てはまるものすべてに○)

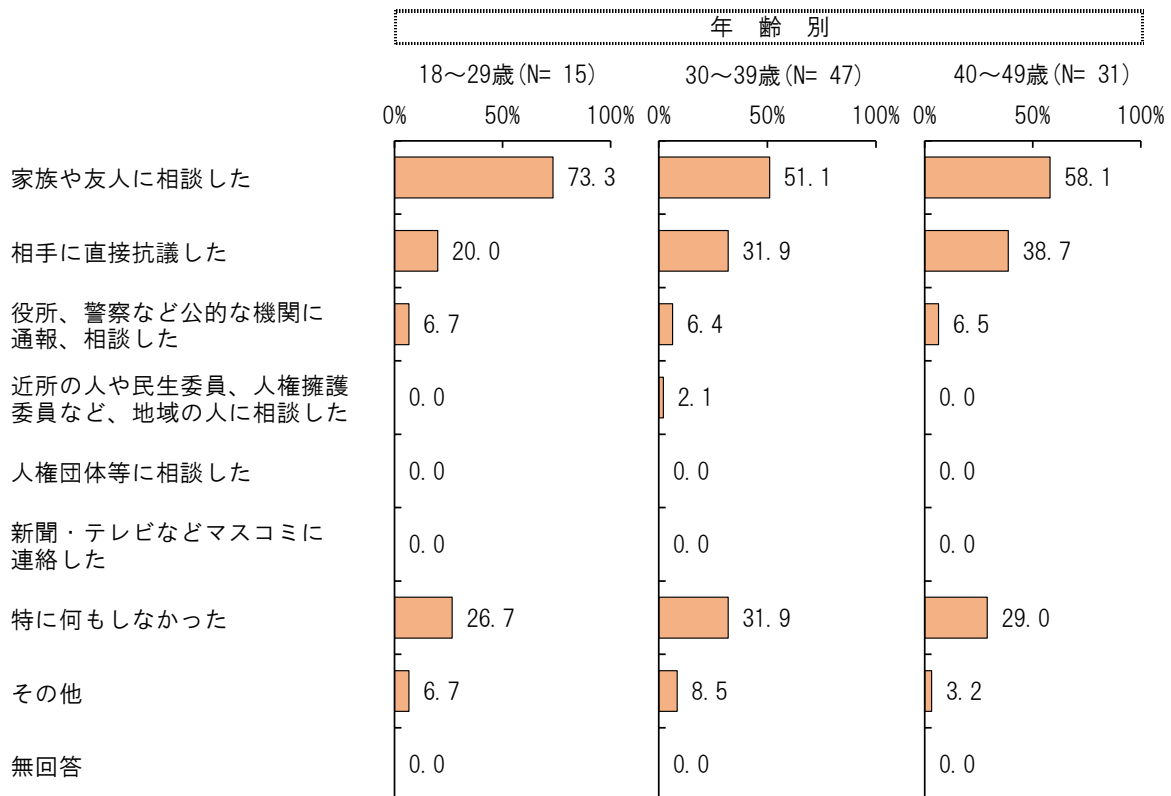


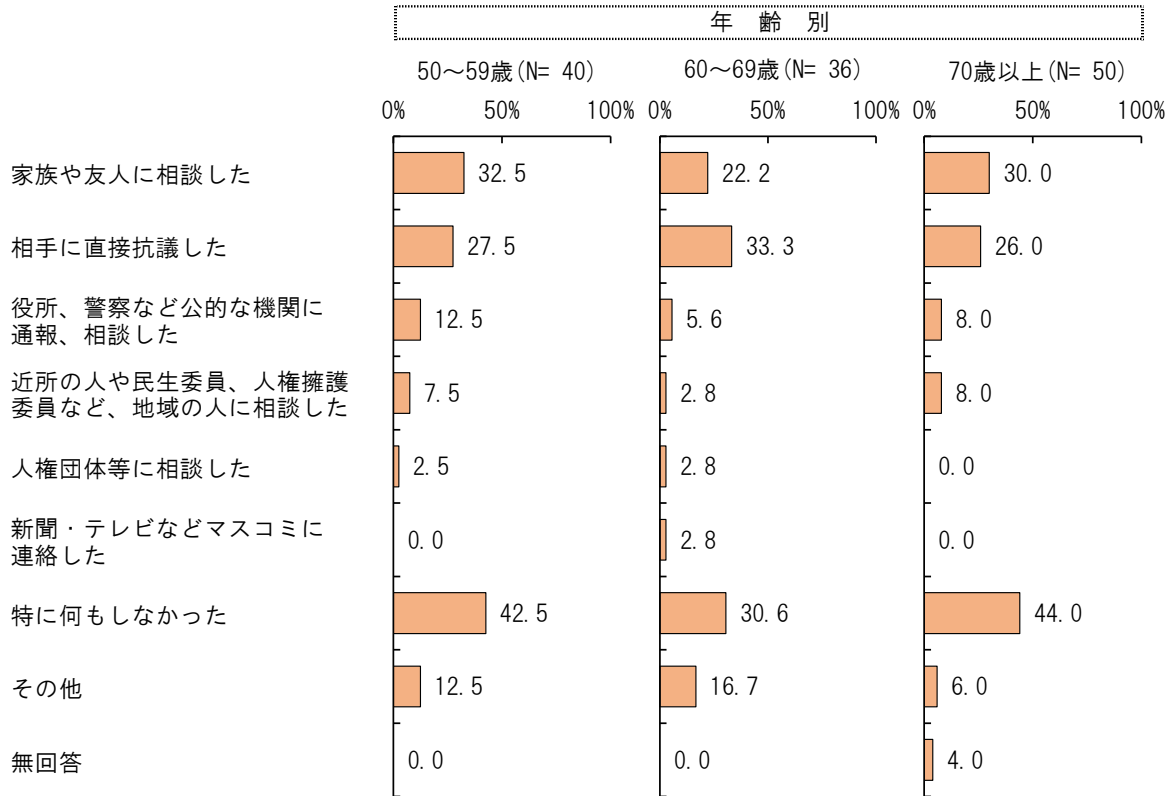
「家族や友人に相談した」が40.5%と最も多く、次いで「特に何もしなかった」が35.9%、「相手に直接抗議した」が30.0%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「相手に直接抗議した」が6.7ポイント、「役所、警察など公的な機関に通報、相談した」が2.3ポイント増加し、「近所の人や民生委員、人権擁護委員など、地域の人に相談した」が2.0ポイント減少しています。



性別でみると、「家族や友人に相談した」は、男性が28.9%、女性が47.2%で女性のほうが18.3ポイント上回っています。



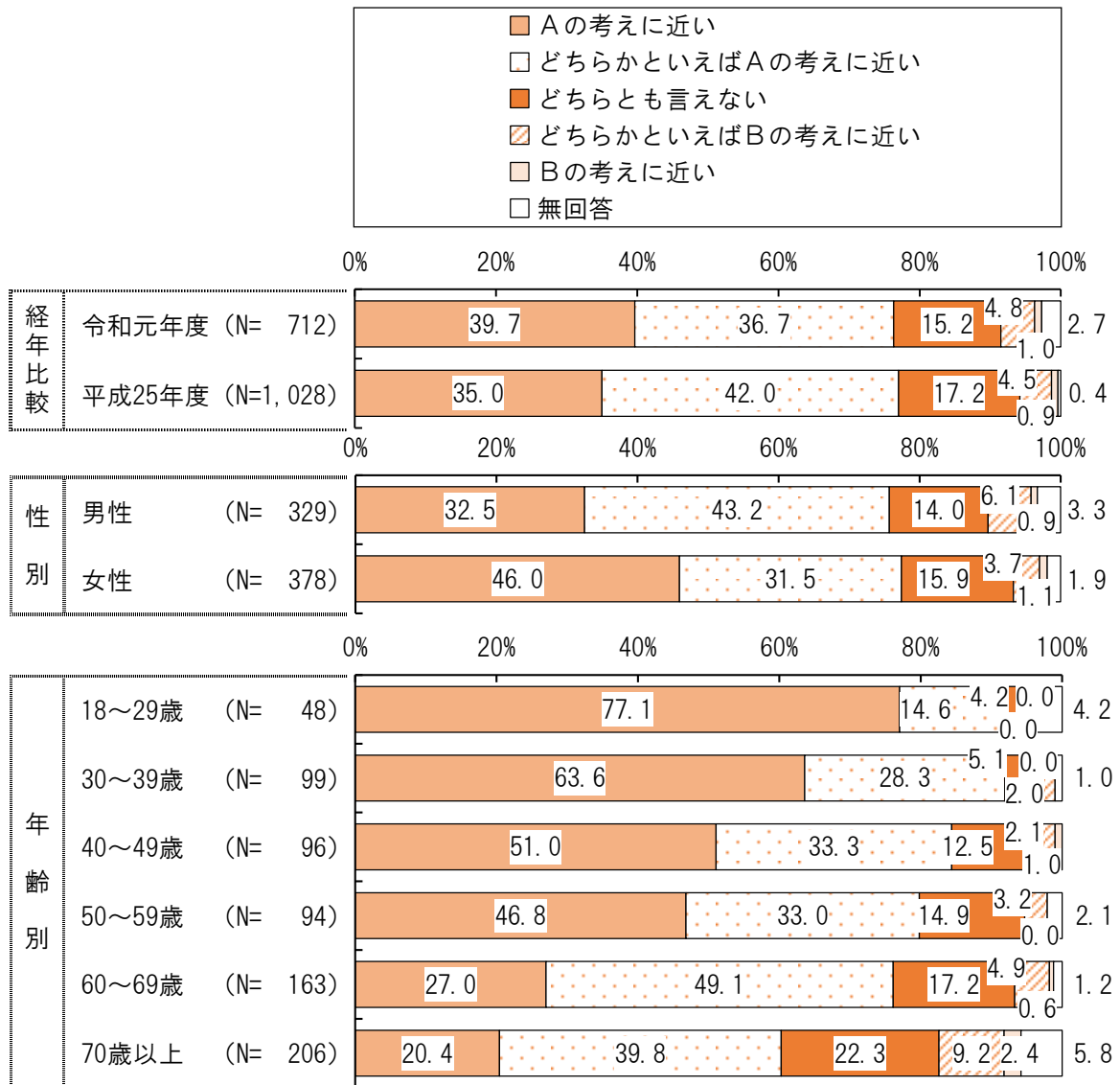


年齢別でみると、“60～69歳”で「相手に直接抗議した」が「家族や友人に相談した」を上回っています。

個々の人権問題について

問6 ある共働き家庭で妻が夫に「二人とも働いているのだからあなたも家事を半分やってください」と言ったとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：妻の言い分はもともとだ。家事は夫婦で分担すべきだ。 B：妻の言い分はおかしい。家事は女性がやるのが当然だ。



「Aの考えに近い」が39.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばAの考えに近い」が36.7%、「どちらとも言えない」が15.2%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は76.4%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は5.8%となっています。

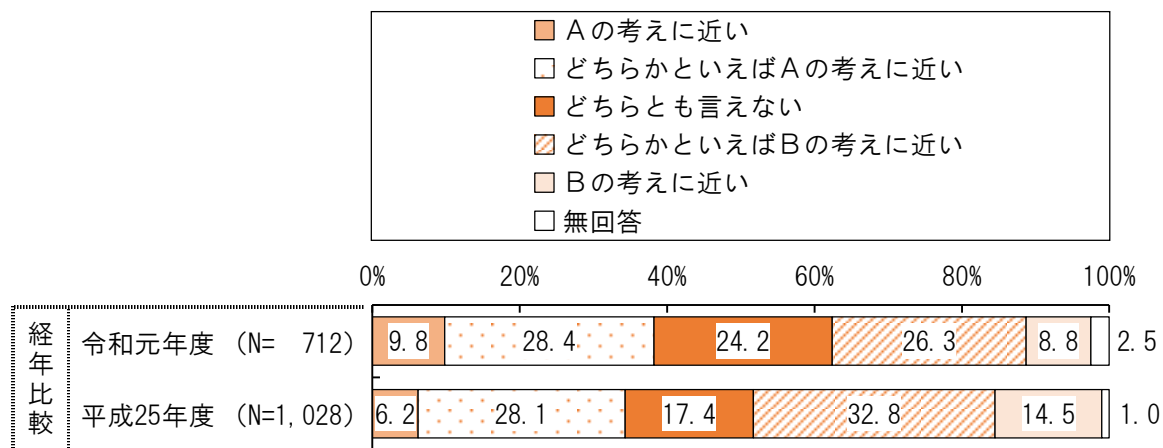
平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」は4.7ポイント増加しています。

性別でみると、「Aの考えに近い」は、男性が32.5%、女性が46.0%で女性のほうが13.5ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「Aの考えに近い」が減少傾向にあります。

問7 ある中学校で、生徒たちが校則を自分たちで決めたいと主張したとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。（○は1つ）

A：生徒の自主性を尊重するのがよい。 B：子どもにすべてまかせるのは行き過ぎだ。

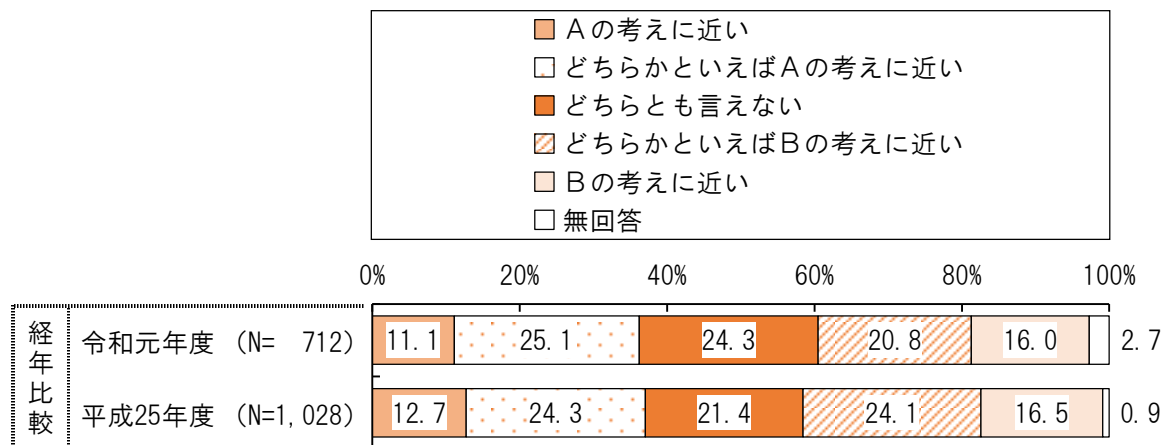


「どちらかといえばAの考えに近い」が28.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばBの考えに近い」が26.3%、「どちらとも言えない」が24.2%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は38.2%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は35.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は3.9ポイント増加し、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は12.2ポイント減少しています。

問8 ある病院で看護師が高齢者に、「おじいちゃん、お熱自分で計れるかな？」と小さい子どもに接するような言葉遣いで話しかけたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A: 親しみを感じさせるのでそのままでもいい。 B: 子どもに接するような言葉遣いは改めるべき。

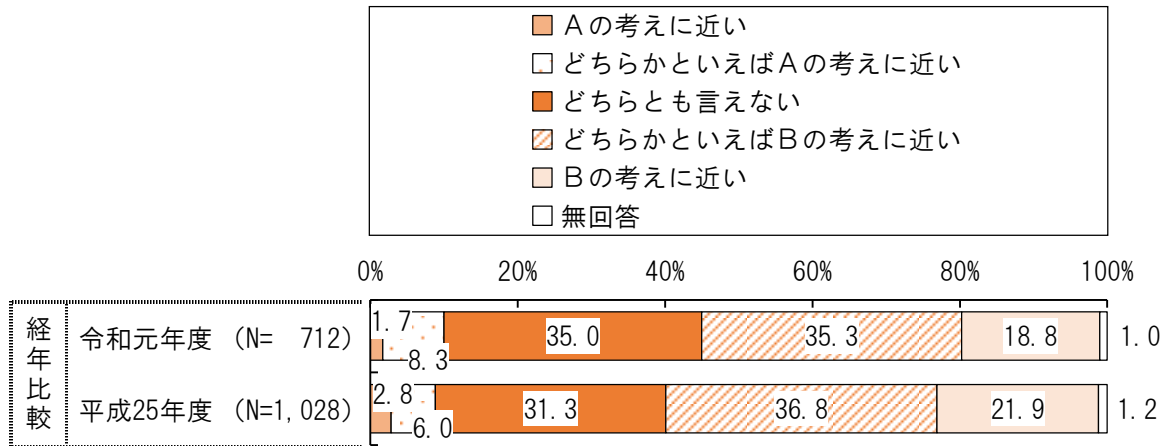


「どちらかといえばAの考えに近い」が25.1%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が24.3%、「どちらかといえばBの考えに近い」が20.8%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は36.2%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は36.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計に大きな差異は見られませんが、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は6.2ポイント減少しています。

問9 精神障がい者の共同作業所の建設に伴い、「精神障がい者は何をするか分からない」と、近所に住む一部の住民から反対運動が起きたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：もっともだと思うので反対運動に同調する。 B：社会に必要な施設なので反対するのはおかしい。

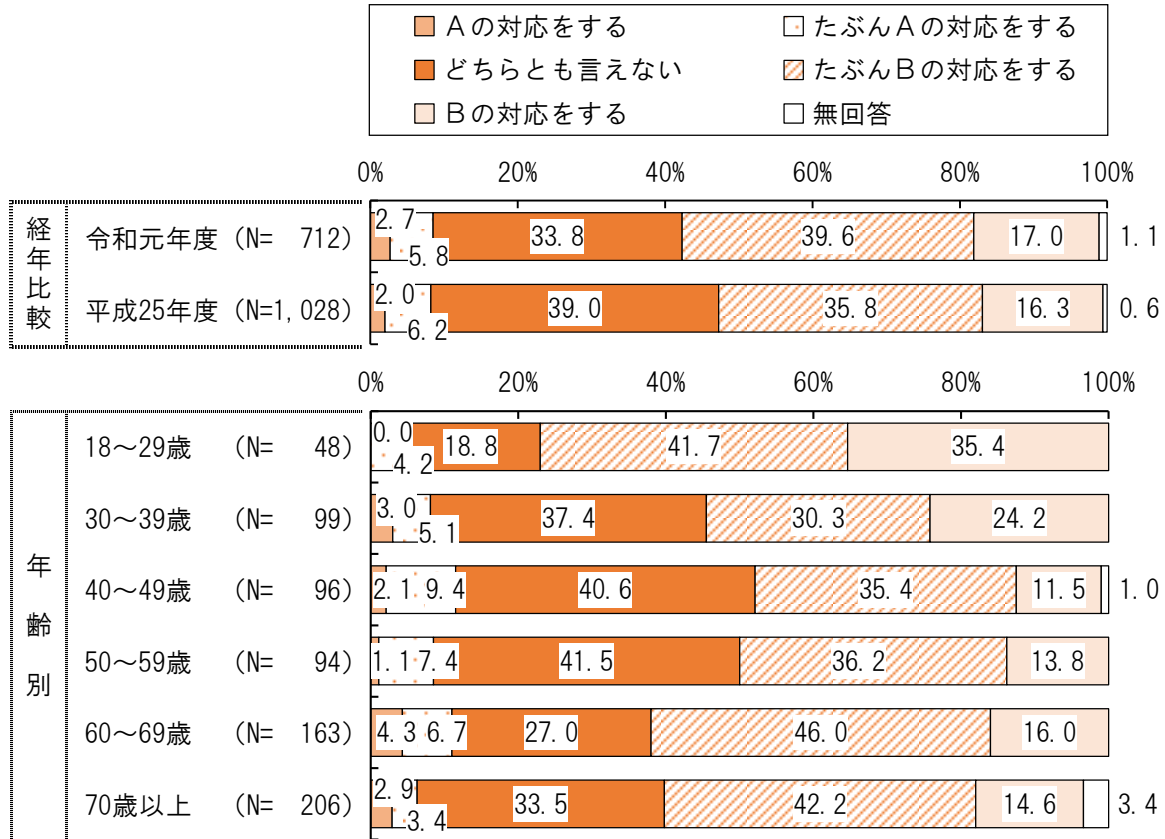


「どちらかといえばBの考えに近い」が35.3%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が35.0%、「Bの考えに近い」が18.8%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は10.0%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は54.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は1.2ポイント増加し、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は4.6ポイント減少しています。

問10 あなたの近所に在日外国人が家を建てることになり、生活習慣が違うという理由で、土地所有者に土地を売らないようにとの働きかけが地域内で始まったとします。あなたならどのような対応をしますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：もっともだと思うので反対意見に同調する。 B：外国人だからといって土地を売らないのはおかしいと言う。



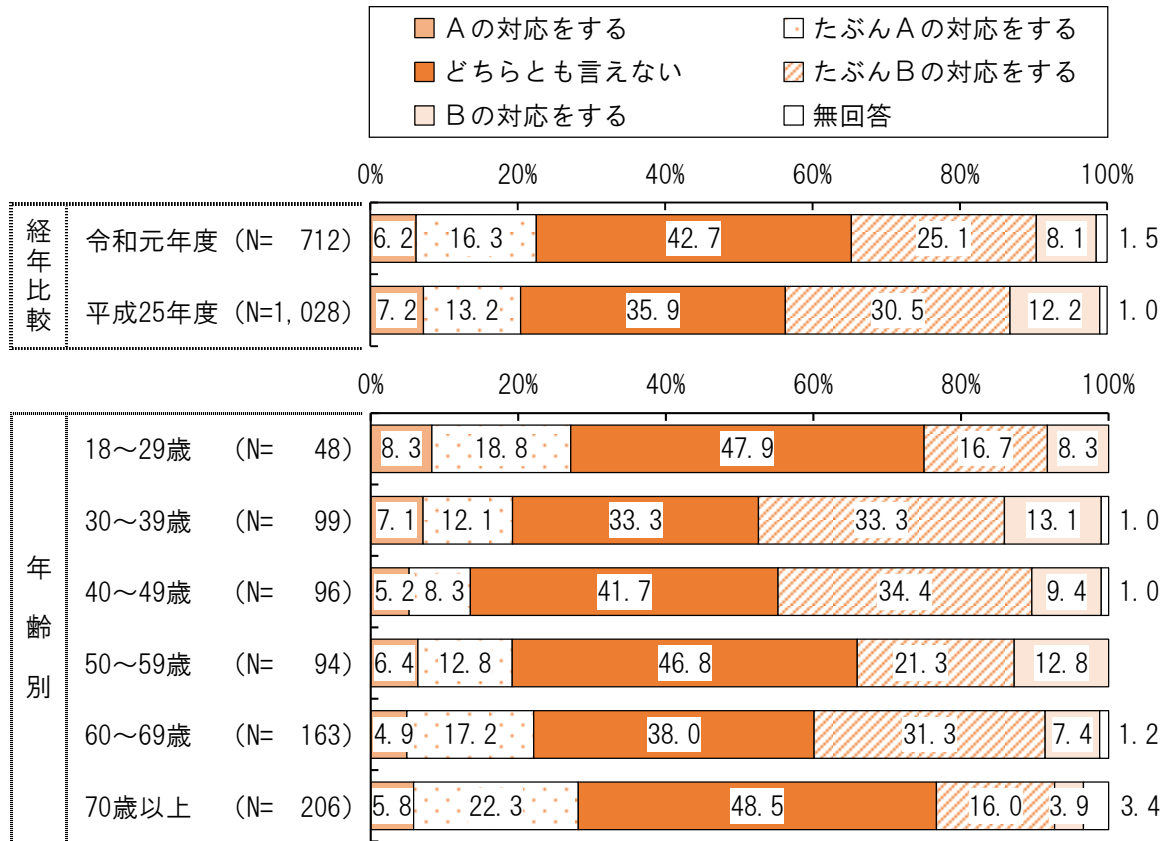
「たぶんBの対応をする」が39.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が33.8%、「Bの対応をする」が17.0%などとなっています。また、「Aの対応をする」と「たぶんAの対応をする」の合計は8.5%、「たぶんBの対応をする」と「Bの対応をする」の合計は56.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの対応をする」と「たぶんAの対応をする」の合計に大きな差異は見られませんが、「たぶんBの対応をする」と「Bの対応をする」の合計は4.5ポイント増加しています。

年齢別でみると、「たぶんBの対応をする」と「Bの対応をする」の合計が、18～29歳は77.1%で他の年代と比べ高くなっています。

問11 マイホームを建てるのに手頃な土地が見つかりましたが、知人から「あの土地は同和地区だから割安なのだ。購入は考え直したほうがいい」と言われたとします。あなたならどのような対応をしますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：予定どおり家を建てて住む。 B：土地の購入をやめる。



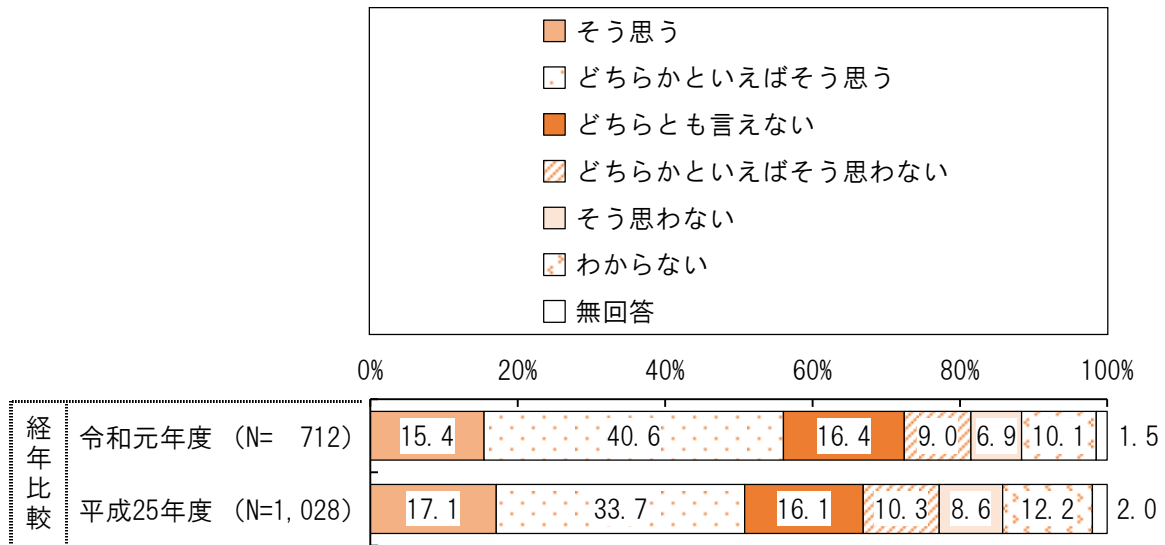
「どちらとも言えない」が42.7%と最も多く、次いで「たぶんBの対応をする」が25.1%、「たぶんAの対応をする」が16.3%などとなっています。また、「Aの対応をする」と「たぶんAの対応をする」の合計は22.5%、「たぶんBの対応をする」と「Bの対応をする」の合計は33.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの対応をする」と「たぶんAの対応をする」の合計は2.1ポイント増加し、「たぶんBの対応をする」と「Bの対応をする」の合計は9.5ポイント減少しています。

年齢別でみると、「Aの対応をする」と「たぶんAの対応をする」の合計は70歳以上が28.1%、18～29歳が27.1%で他の年代と比べ高くなっています。

問12 同和問題に関する(1)～(9)の意見についてあなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

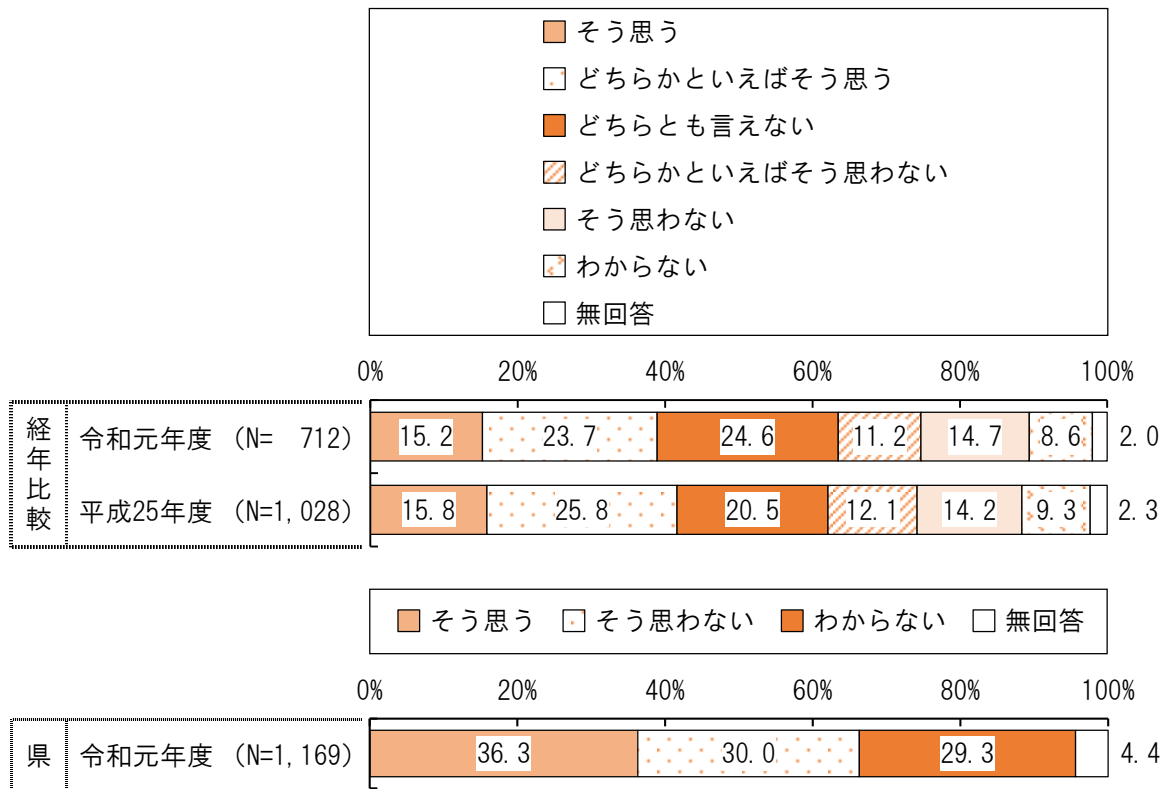
(1) 昔は部落に対する差別があったかもしれないが今はなくなっている。



「どちらかといえばそう思う」が40.6%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が16.4%、「そう思う」が15.4%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は56.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は15.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は5.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は3.0ポイント減少しています。

(2) そっとしておけば部落差別は自然になくなっていく。

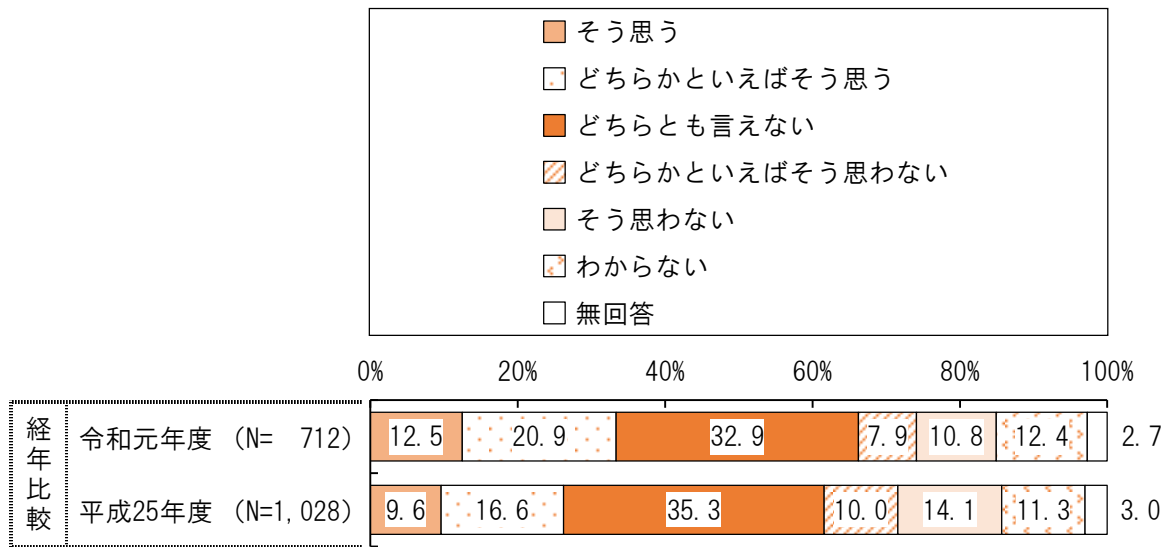


「どちらとも言えない」が24.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.7%、「そう思う」が15.2%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は38.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は25.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は2.7ポイント減少しましたが、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計に大きな差異は見られません。

静岡県調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は2.6ポイント上回っており、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は4.1ポイント下回っています。

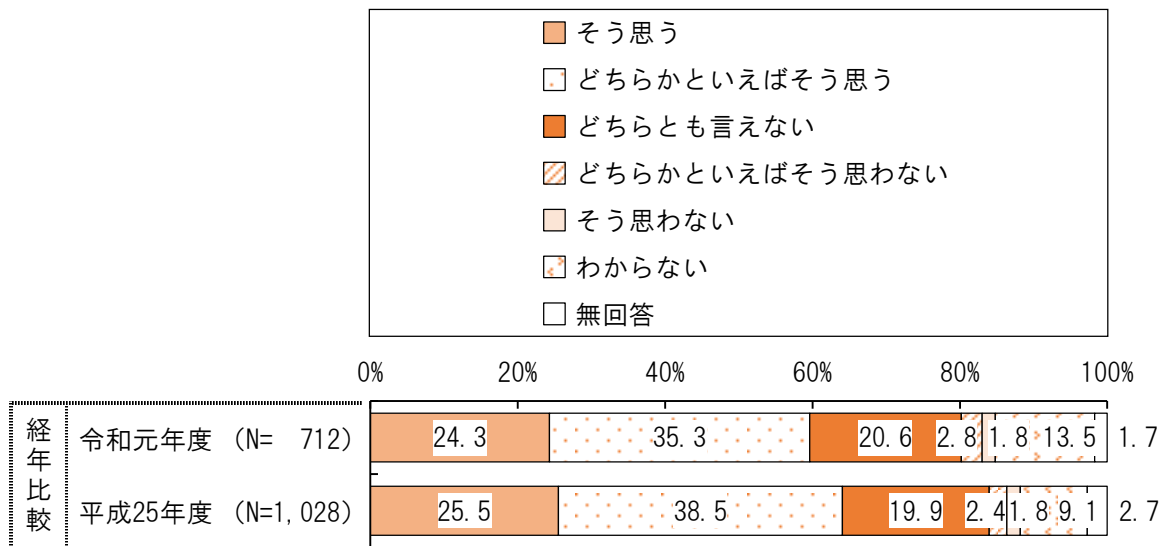
(3) 同和問題は自分とは関係ない。



「どちらとも言えない」が32.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.9%、「そう思う」が12.5%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は33.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は18.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は7.2ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は5.4ポイント減少しています。

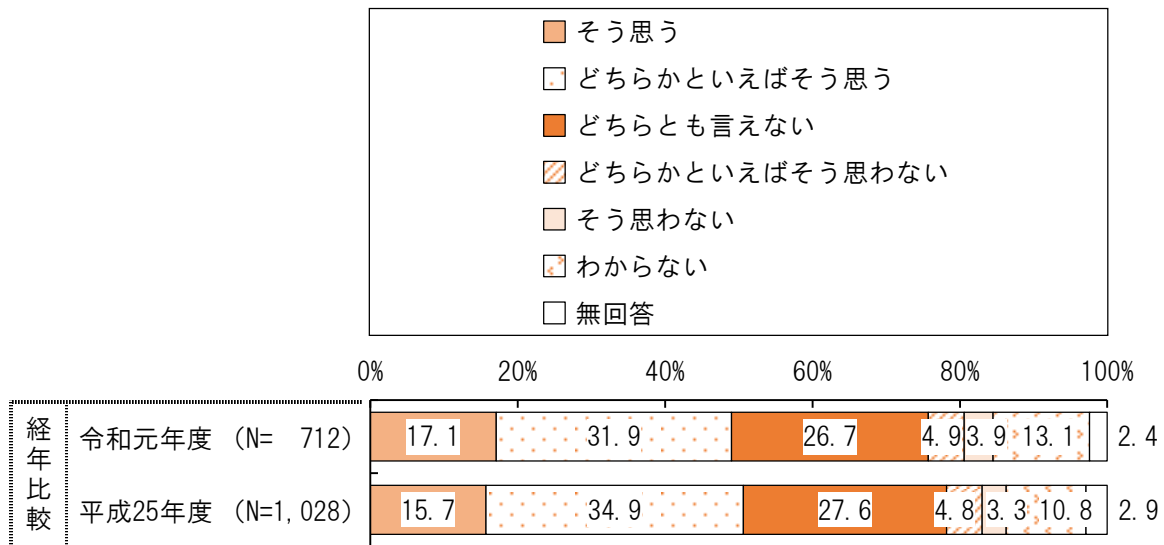
(4) 差別を受けた人のくやしさは人ごととは思えない。



「どちらかといえばそう思う」が35.3%と最も多く、次いで「そう思う」が24.3%、「どちらとも言えない」が20.6%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は59.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は4.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は4.4ポイント減少しましたが、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計に大きな差異は見られません。

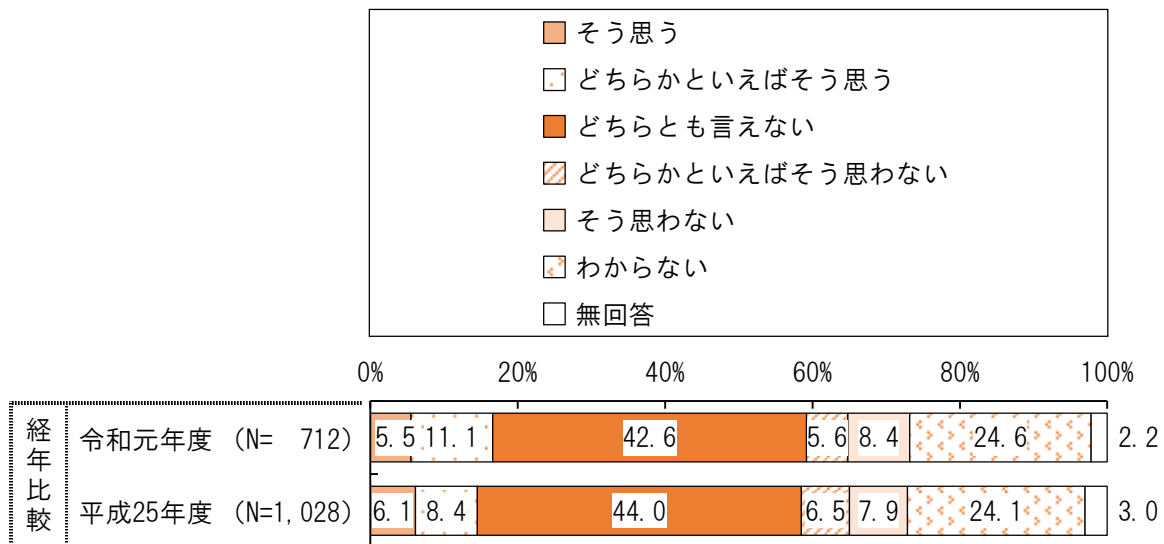
(5) 市民一人ひとりが自分の問題として同和問題の解決に努力する必要がある。



「どちらかといえばそう思う」が31.9%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が26.7%、「そう思う」が17.1%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は49.0%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は8.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は1.6ポイント減少しましたが、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計に大きな差異は見られません。

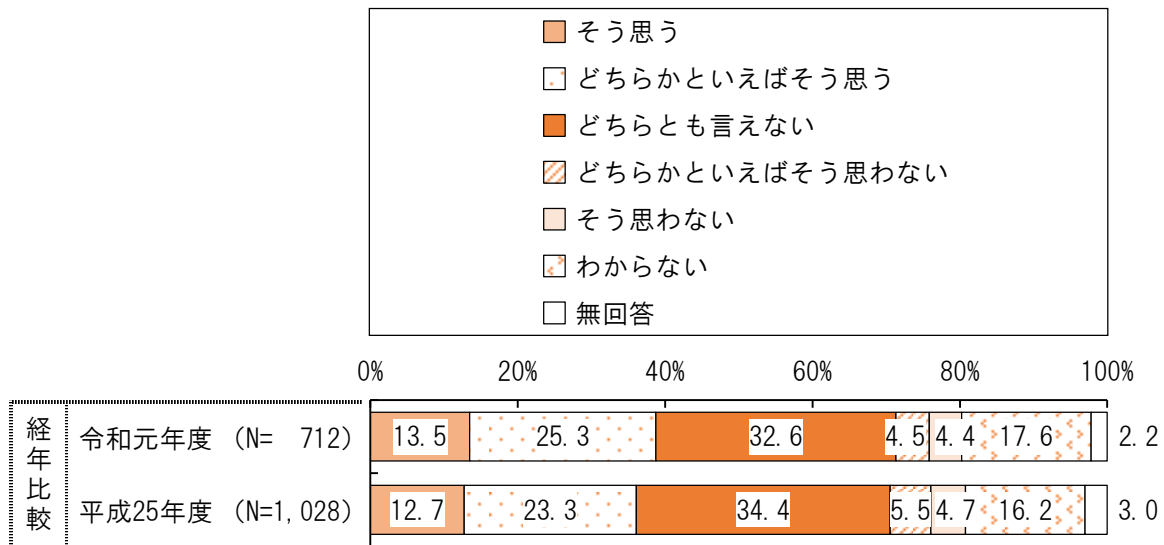
(6) 行政は同和問題にくらべてほかの人権問題をおろそかにしている。



「どちらとも言えない」が42.6%と最も多く、次いで「わからない」が24.6%、「どちらかといえばそう思う」が11.1%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は16.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は14.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は2.1ポイント増加しましたが、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計に大きな差異は見られません。

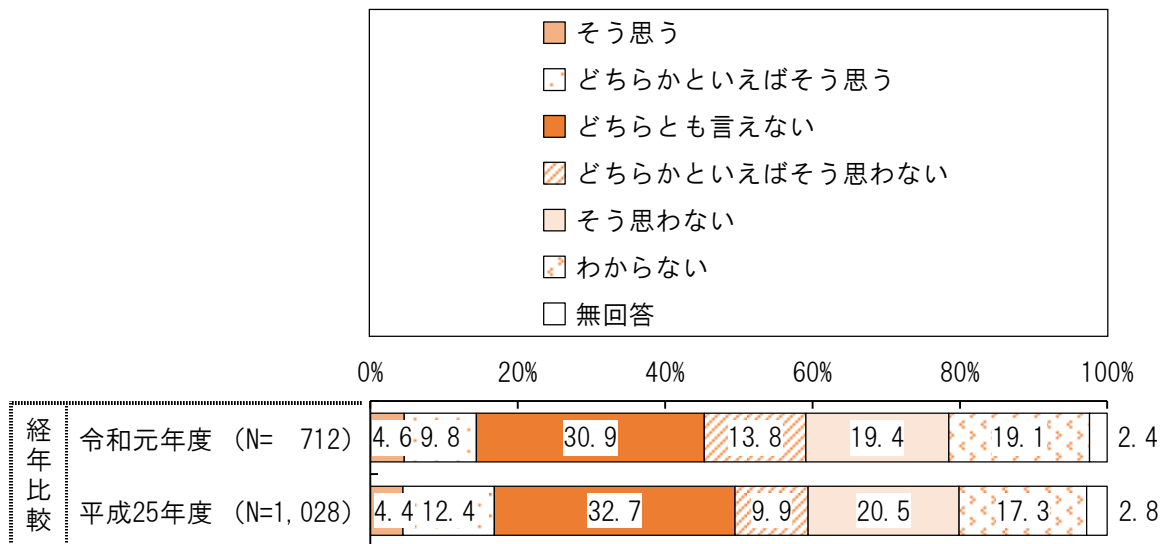
(7) 同和地区の人たちが差別撤廃の運動に立ち上がり声をあげるのは当然だ。



「どちらとも言えない」が32.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.3%、「わからない」が17.6%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は38.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は8.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は2.8ポイント増加し、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は1.3ポイント減少しています。

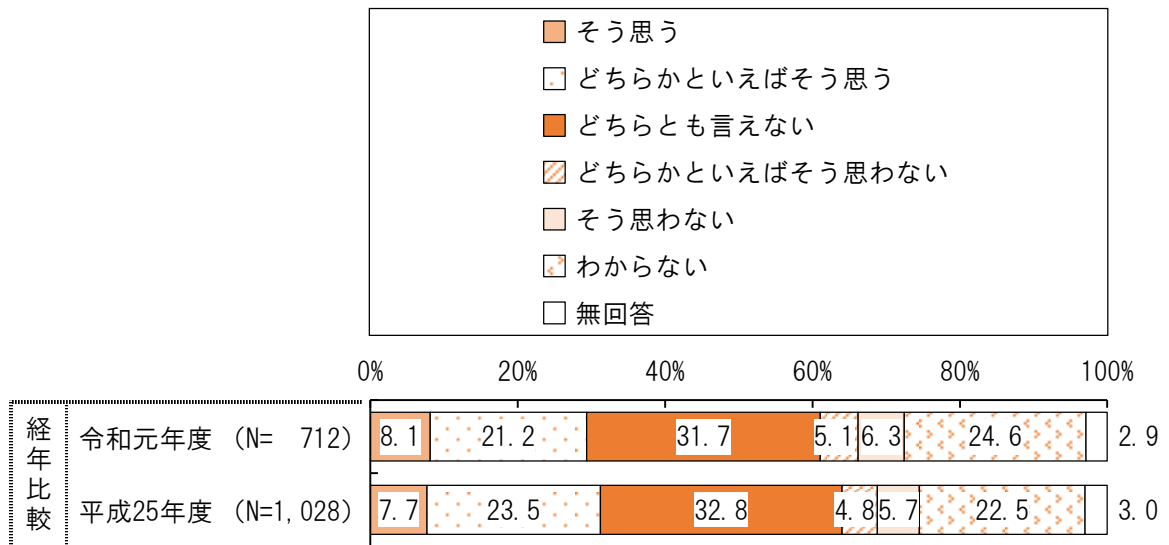
(8) 同和地区の人たちがばらばらにあちこちに引っ越せば同和問題はなくなる。



「どちらとも言えない」が30.9%と最も多く、次いで「そう思わない」が19.4%、「わからない」が19.1%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は14.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は33.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は2.4ポイント減少し、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は2.8ポイント増加しています。

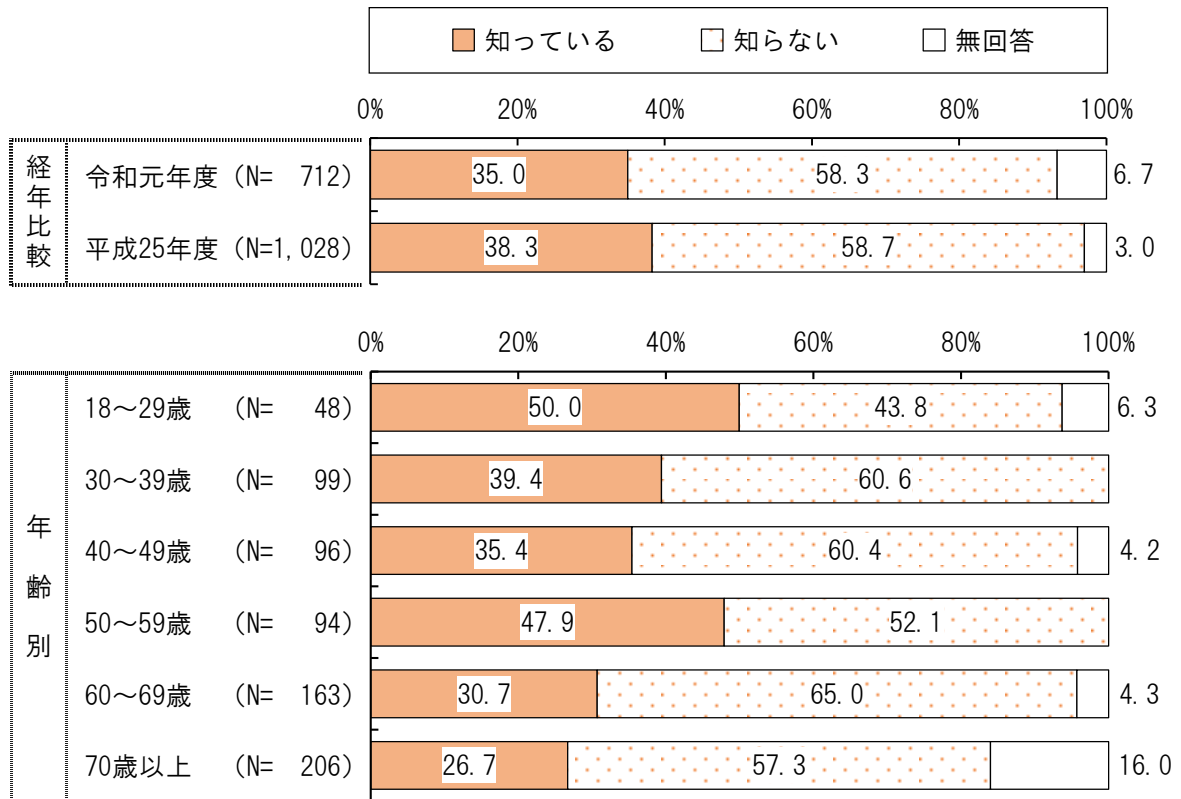
(9) 部落差別をなくすための運動が様々な人々の人権意識を高めてきた。



「どちらとも言えない」が31.7%と最も多く、次いで「わからない」が24.6%、「どちらかといえばそう思う」が21.2%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は29.3%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計は11.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は1.9ポイント減少しましたが、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計に大きな差異は見られません。

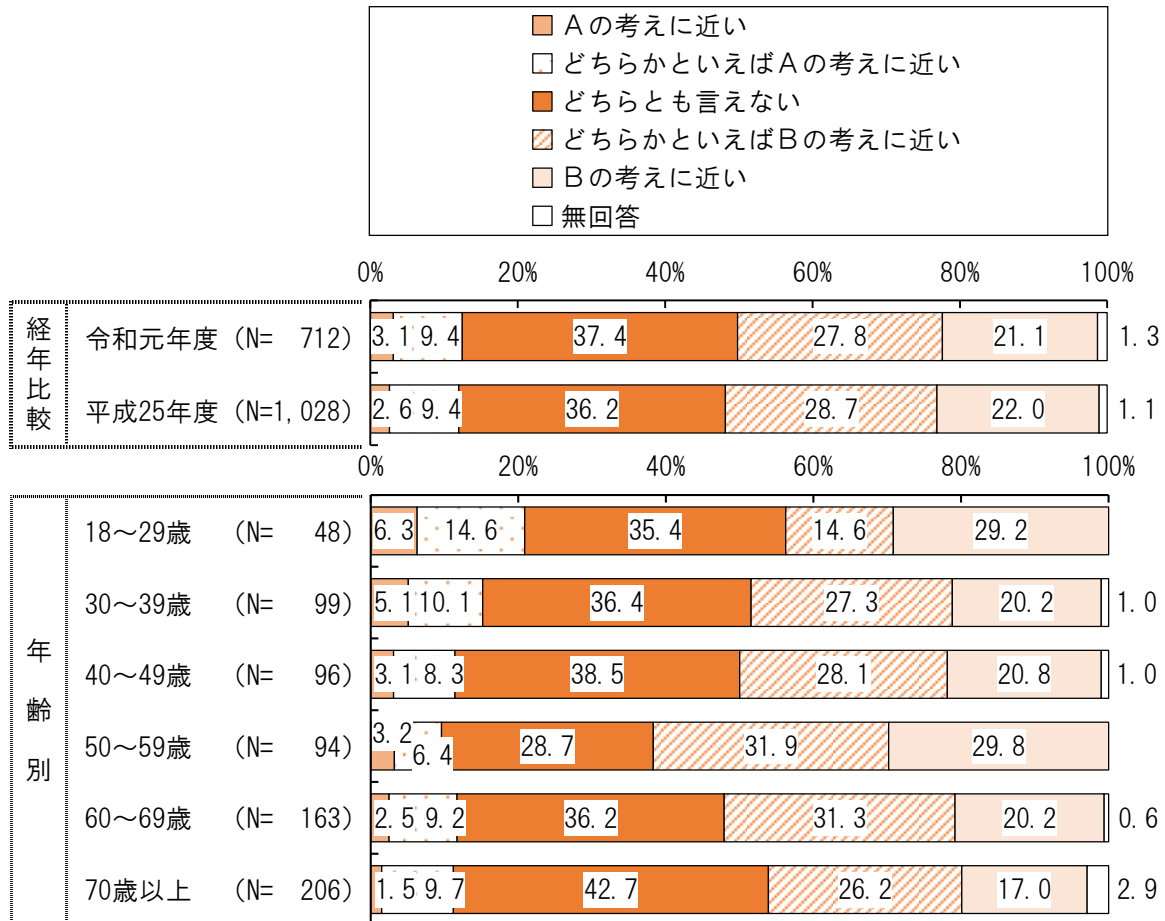
問13 小学校、中学校及び高等学校の社会科の教科書には、歴史上の身分差別に関することや同和問題に関することが書かれています。このことをご存じですか。当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)



「知っている」が35.0%、「知らない」が58.3%となっています。
 平成25年度調査と比較すると、「知っている」は3.3ポイント減少しましたが、「知らない」に大きな差異は見られません。
 年齢別でみると、「知っている」は18～29歳が50.0%、50～59歳が47.9%で他の年代と比べ高くなっています。

問14 後遺症のあるハンセン病回復者がある温泉旅館で「ほかのお客さんがいやがるので」と宿泊を断られたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：温泉旅館の対応は当然だ。 B：温泉旅館の対応は誤っている。



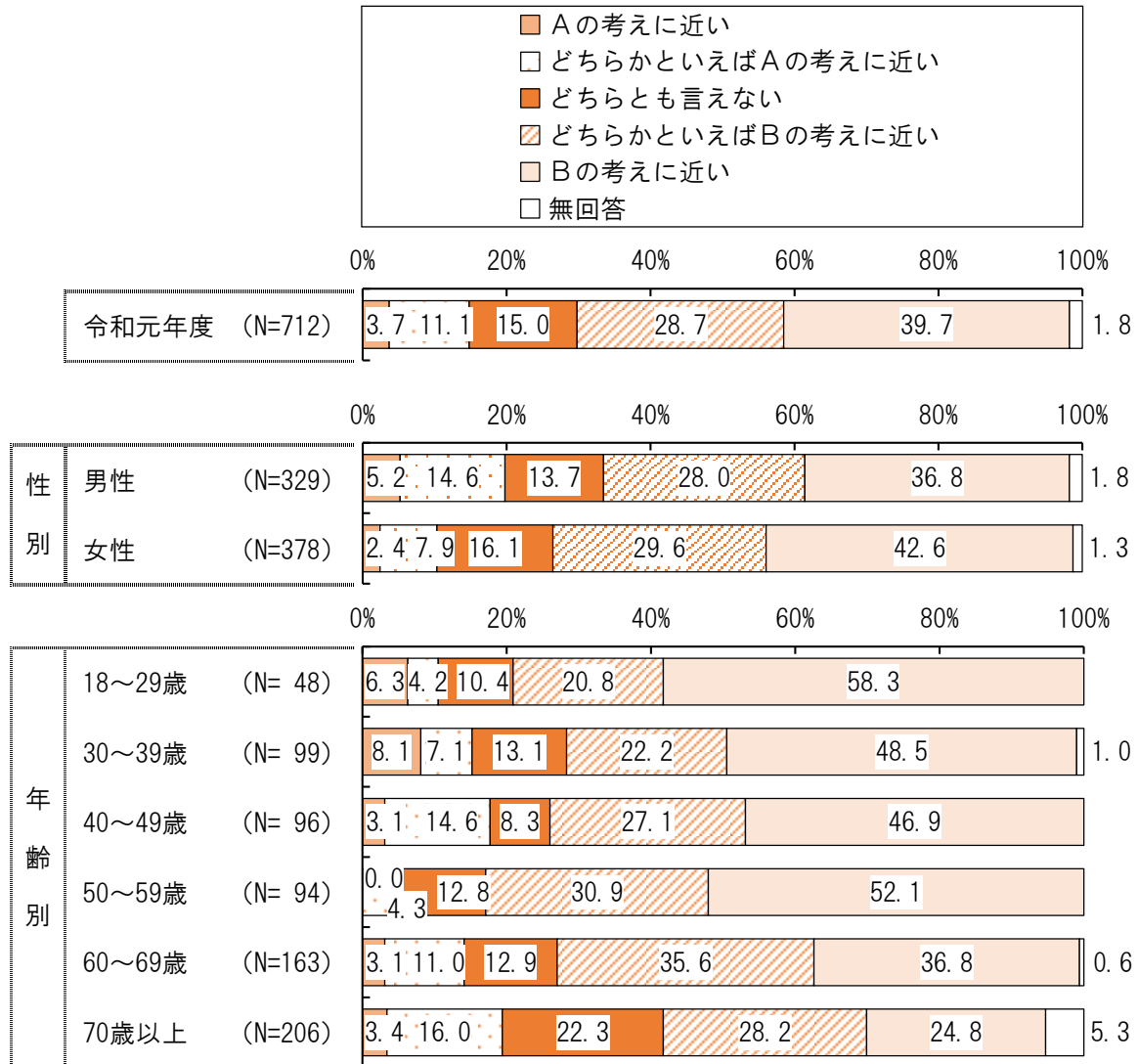
「どちらとも言えない」が37.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばBの考えに近い」が27.8%、「Bの考えに近い」が21.1%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は12.5%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は48.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計に大きな差異は見られませんが、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は1.8ポイント減少しています。

年齢別でみると、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は50～59歳が61.7%で他の年代と比べ高くなっています。

問15 ある事件に関して、報道により犯罪被害者やその家族のプライバシーに関することが公表されたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A：事件に関わっている以上仕方ないことだと思う。 B：犯罪被害者のプライバシーが侵害されるのはおかしいと思う。



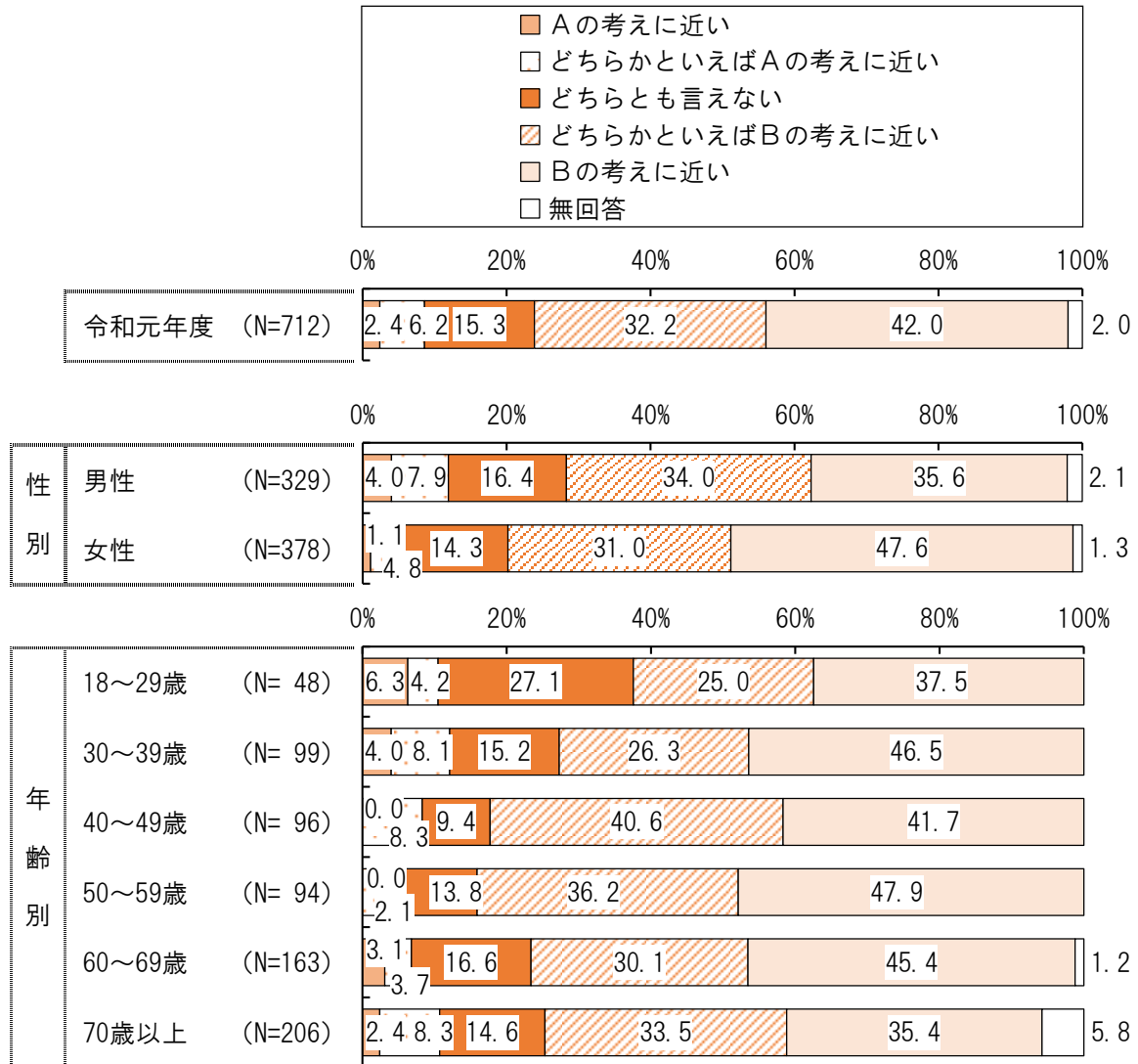
「Bの考えに近い」が39.7%と最も多く、次いで「どちらかといえばBの考えに近い」が28.7%、「どちらとも言えない」が15.0%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は14.8%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は68.4%となっています。

性別でみると、「Bの考えに近い」は、男性が36.8%、女性が42.6%で女性のほうが5.8ポイント上回っています。

年齢別でみると、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は50～59歳が83.0%で他の年代と比べ高くなっています。

問16 インターネット上に、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあったとします。このような書き込みについて、あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。（○は1つ）

A：書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う。 B：書いてある内容が事実かどうかに関わらず、許されない人権侵害だと思う。

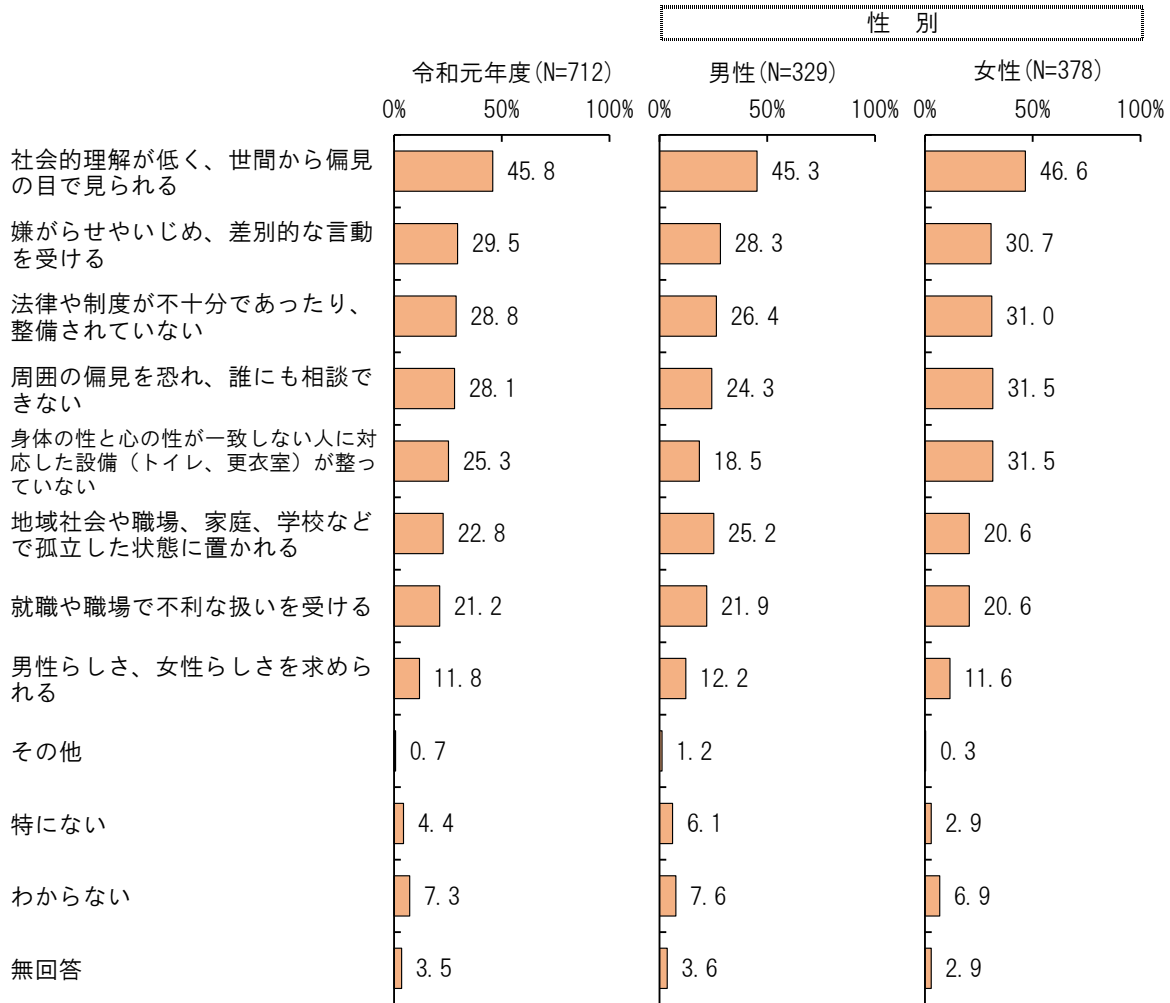


「Bの考えに近い」が42.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばBの考えに近い」が32.2%、「どちらとも言えない」が15.3%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は8.6%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は74.2%となっています。

性別でみると、「Bの考えに近い」は、男性が35.6%、女性が47.6%で女性のほうが12.0ポイント上回っています。

年齢別でみると、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は50～59歳が84.1ポイント、40～49歳が82.3%で他の年代と比べ高くなっています。

問17 LGBT等性的少数者に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。（当てはまるもの3つ以内に○）



「社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる」が45.8%と最も多く、次いで「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」が29.5%、「法律や制度が不十分であったり、整備されていない」が28.8%などとなっています。

性別でみると、「地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる」は、男性が25.2%、女性が20.6%で男性のほうが4.6ポイント上回り、「就職や職場で不利な扱いを受ける」は、男性が21.9%、女性が20.6%で男性が1.3ポイント上回っています。一方で、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない」は、男性が18.5%、女性が31.5%で女性のほうが13.0ポイント上回り、「周囲の偏見を恐れ、誰にも相談できない」は、男性が24.3%、女性が31.5%で女性のほうが7.2ポイント上回っています。

(単位：%)

	サンプル数	社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる	嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける	法律や制度が不十分であったり、整備されていない	周囲の偏見を恐れ、誰にも相談できない	身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない	地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる	就職や職場で不利な扱いを受ける	男性らしさ、女性らしさを求められる	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	712	45.8	29.5	28.8	28.1	25.3	22.8	21.2	11.8	0.7	4.4	7.3	3.5	
年齢別	18～29歳	48	54.2	37.5	31.3	35.4	35.4	22.9	12.5	16.7	0.0	4.2	0.0	0.0
	30～39歳	99	39.4	33.3	35.4	24.2	30.3	17.2	22.2	14.1	3.0	4.0	7.1	0.0
	40～49歳	96	49.0	33.3	29.2	39.6	31.3	22.9	24.0	17.7	0.0	3.1	2.1	0.0
	50～59歳	94	45.7	36.2	27.7	31.9	25.5	28.7	25.5	10.6	1.1	1.1	6.4	0.0
	60～69歳	163	50.3	29.4	31.9	22.7	18.4	23.9	22.7	9.8	0.6	3.1	10.4	3.1
	70歳以上	206	41.7	21.4	22.8	25.2	22.3	21.8	18.0	9.2	0.0	7.8	9.2	9.7

※ ■は全体より5ポイント以上高い、■は全体より5ポイント以上低い

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」が減少傾向にあります。

18～29歳は全体と比較して「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない」は10.1ポイント、「社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる」は8.4ポイント上回り、「就職や職場で不利な扱いを受ける」は8.7ポイント下回っています。

30～39歳は全体と比較して「法律や制度が不十分であったり、整備されていない」は6.6ポイント、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない」は5.0ポイント上回り、「社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる」は6.4ポイント、「地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる」は5.6ポイント下回っています。

40～49歳は全体と比較して「周囲の偏見を恐れ、誰にも相談できない」は11.5ポイント、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない」は6.0ポイント、「男性らしさ、女性らしさを求められる」は5.9ポイント上回っています。

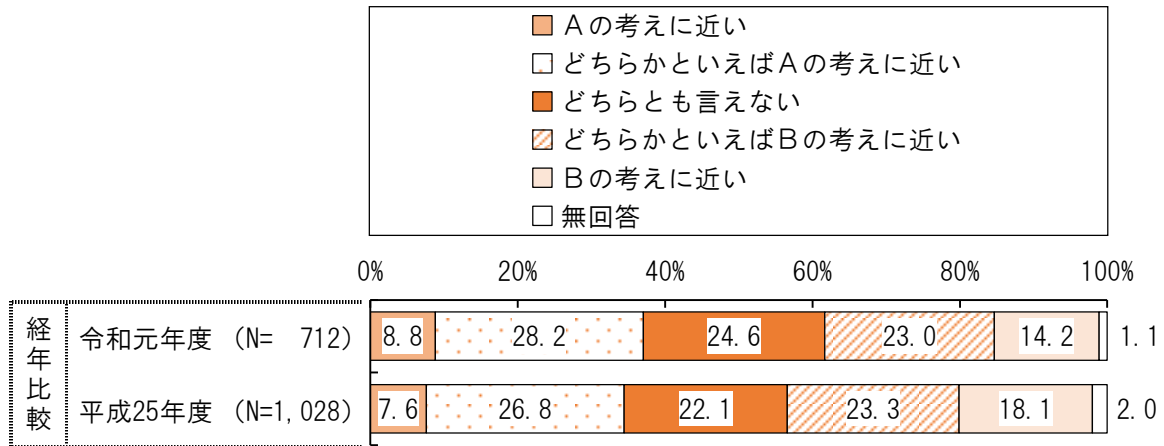
50～59歳は全体と比較して「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」は6.7ポイント、「地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる」は5.9ポイント上回っています。

60～69歳は全体と比較して「社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる」は4.5ポイント上回り、「身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備（トイレ、更衣室）が整っていない」は6.9ポイント、「周囲の偏見を恐れ、誰にも相談できない」は5.4ポイント下回っています。

70歳以上は全体と比較して「嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける」は8.1ポイント、「法律や制度が不十分であったり、整備されていない」は6.0ポイント下回っています。

問18 家族に結婚の話がもちあがったところ、親戚から「長いつきあいになるのだから念のために相手の家について調べたほうがいい」と言われたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。（○は1つ）

A：もっともな話なので相手の家を調べる。 B：本人同士のことなので相手の家を調べない。

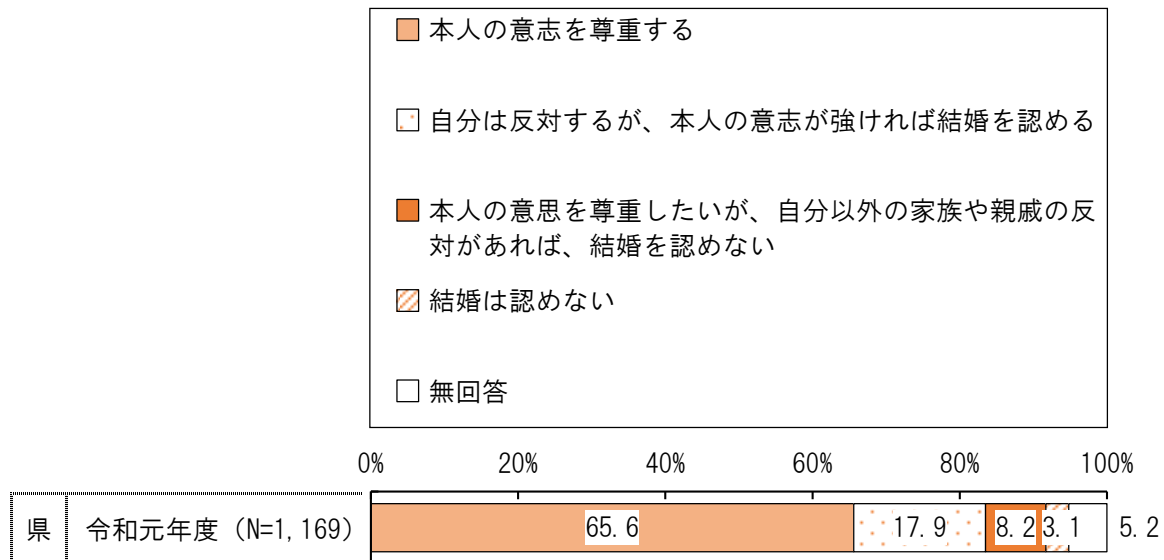
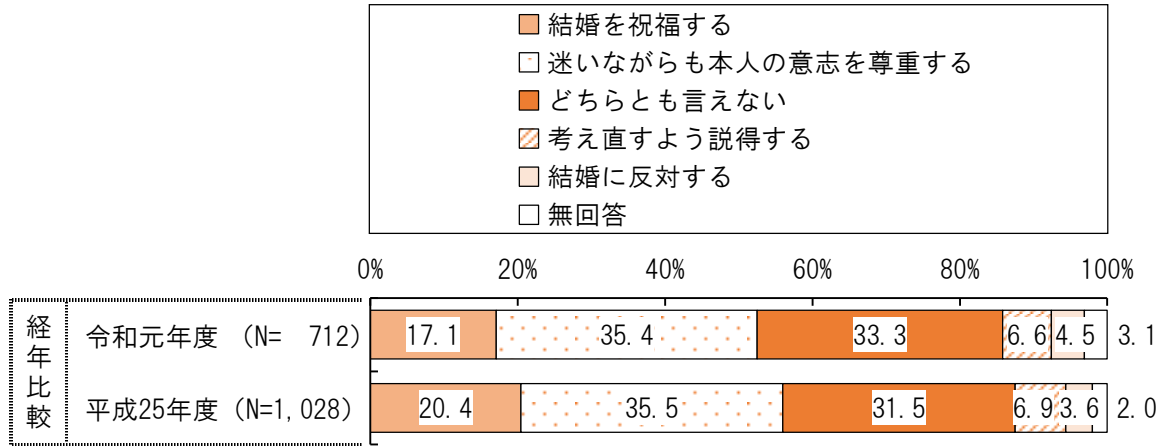


「どちらかといえばAの考えに近い」が28.2%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が24.6%、「どちらかといえばBの考えに近い」が23.0%などとなっています。また、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は37.0%、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は37.2%となっています。

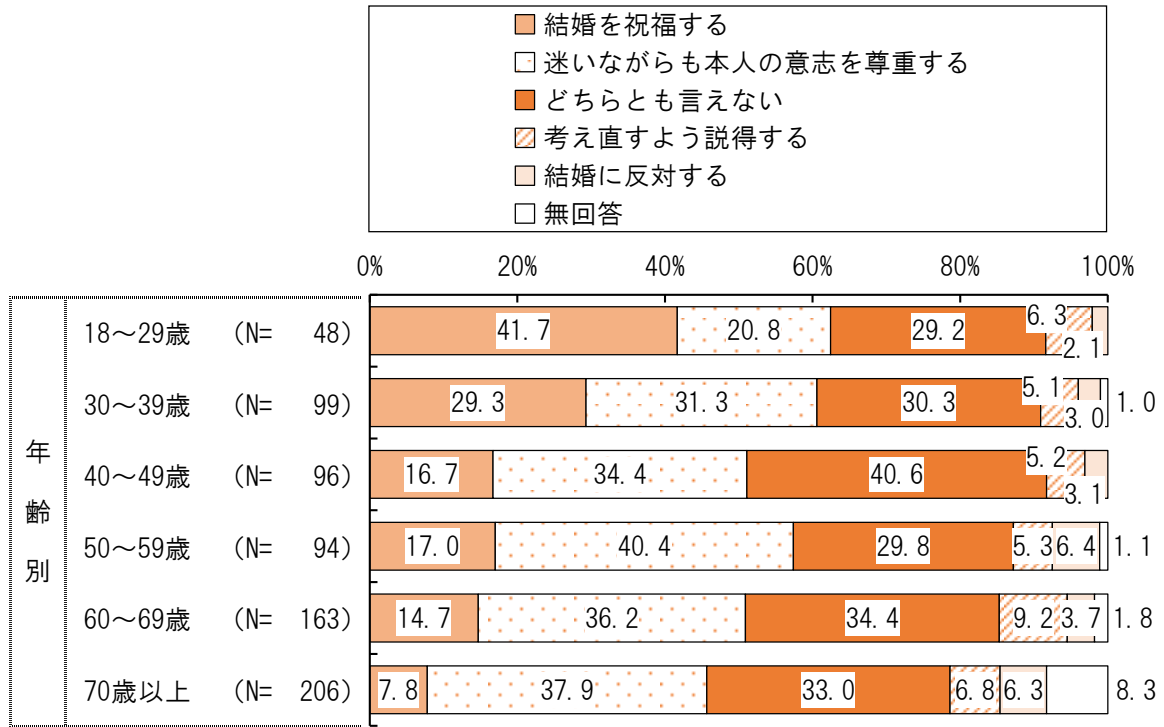
平成25年度調査と比較すると、「Aの考えに近い」と「どちらかといえばAの考えに近い」の合計は2.6ポイント増加し、「どちらかといえばBの考えに近い」と「Bの考えに近い」の合計は4.2ポイント減少しています。

問19 あなたのごく身近な肉親（子どもや孫、兄弟姉妹など）に次の（１）～（７）の相手との結婚の話がもちあがったとします。あなたならどのような態度をとると思いますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

（１）同和地区出身の人

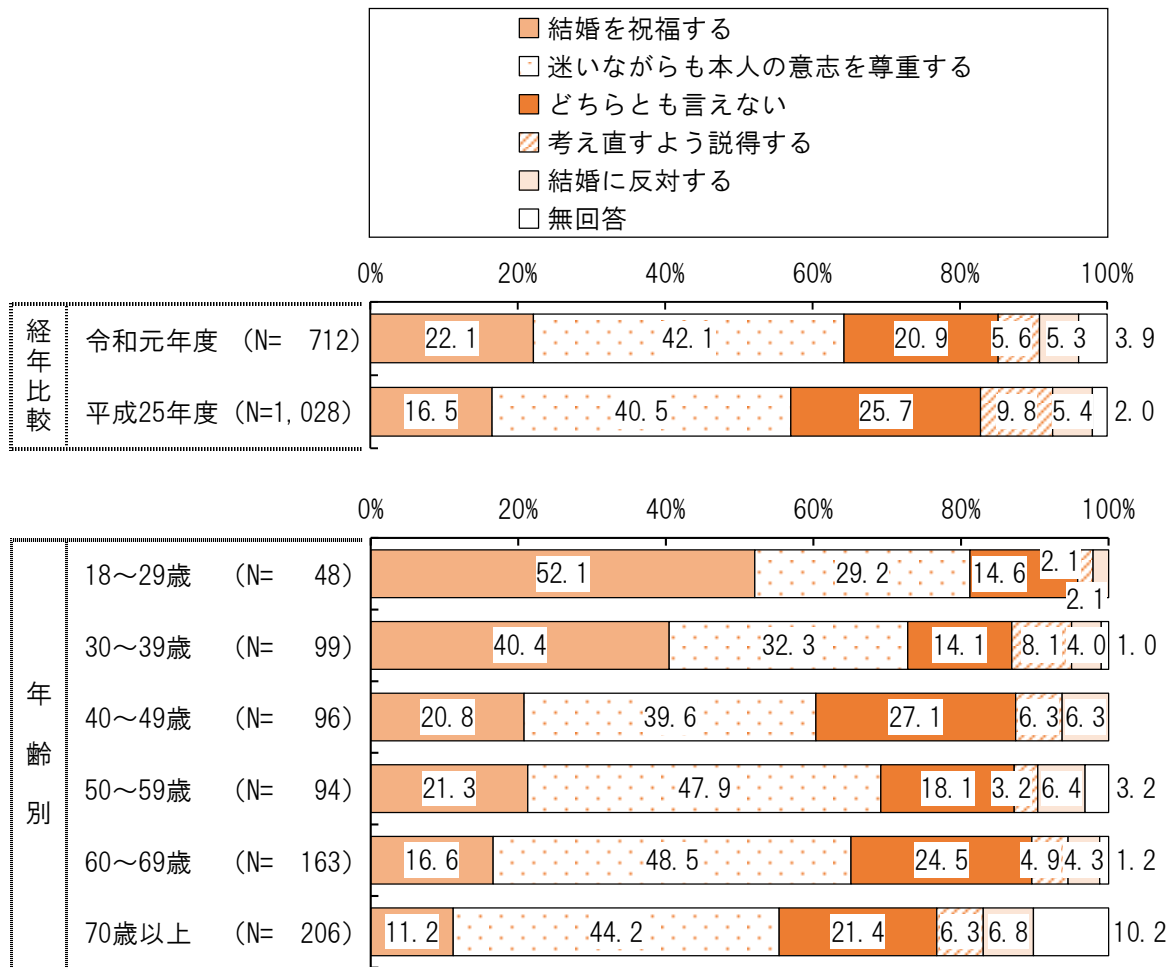


「迷いながらも本人の意志を尊重する」が35.4%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が33.3%、「結婚を祝福する」が17.1%などとなっています。
 平成25年度調査と比較すると、「結婚を祝福する」は3.3ポイント減少しています。
 静岡県調査と比較すると、市の「結婚を祝福する」と「迷いながらも本人の意志を尊重する」の合計は52.5%、静岡県の「本人の意志を尊重する」は65.6%で市のほうが13.1ポイント下回っています。



年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「結婚を祝福する」が減少傾向にあります。

(2) 在日外国人

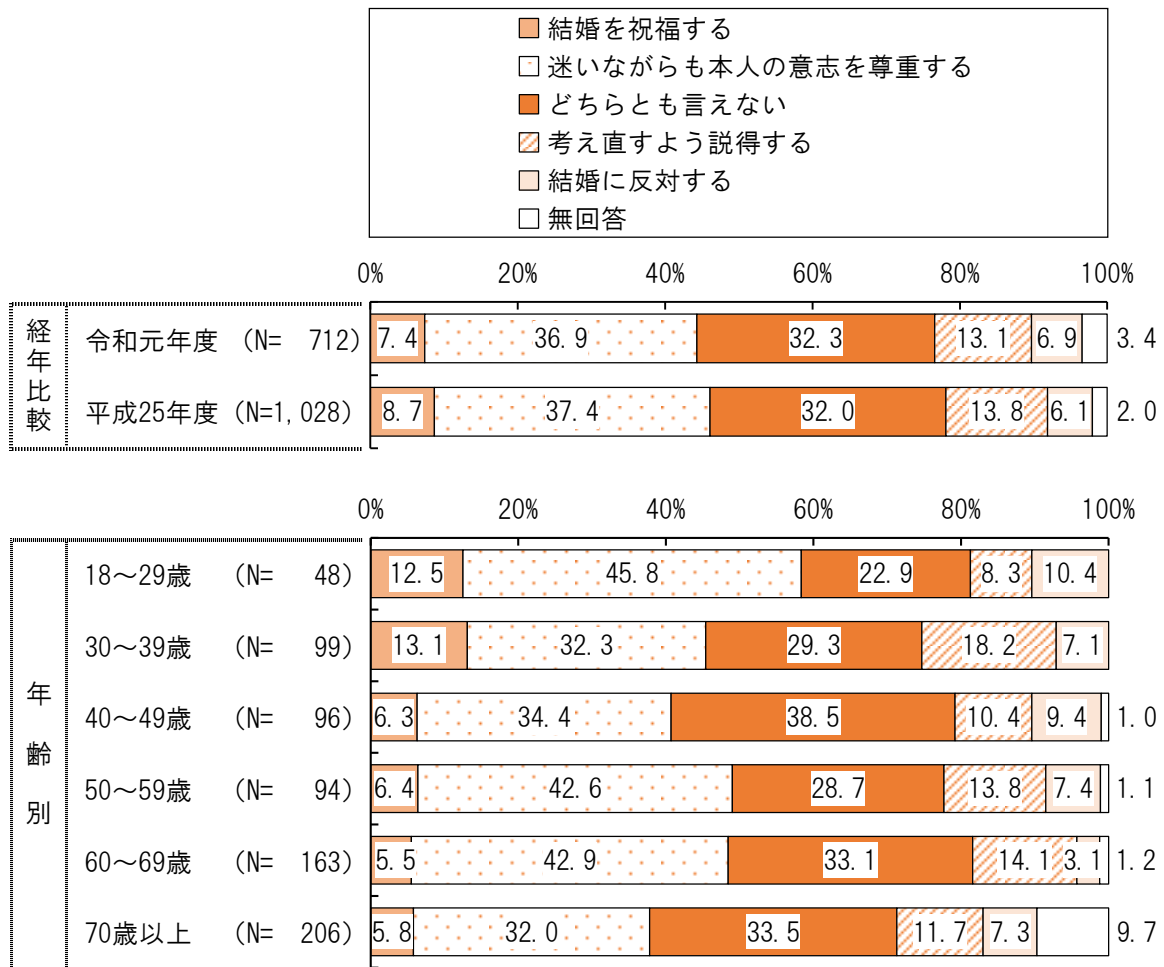


「迷いながらも本人の意志を尊重する」が42.1%と最も多く、次いで「結婚を祝福する」が22.1%、「どちらとも言えない」が20.9%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「結婚を祝福する」は5.6ポイント増加し、「考え直すよう説得する」は4.2ポイント減少しています。

年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「結婚を祝福する」が減少傾向にあります。

(3) 障がいのある人

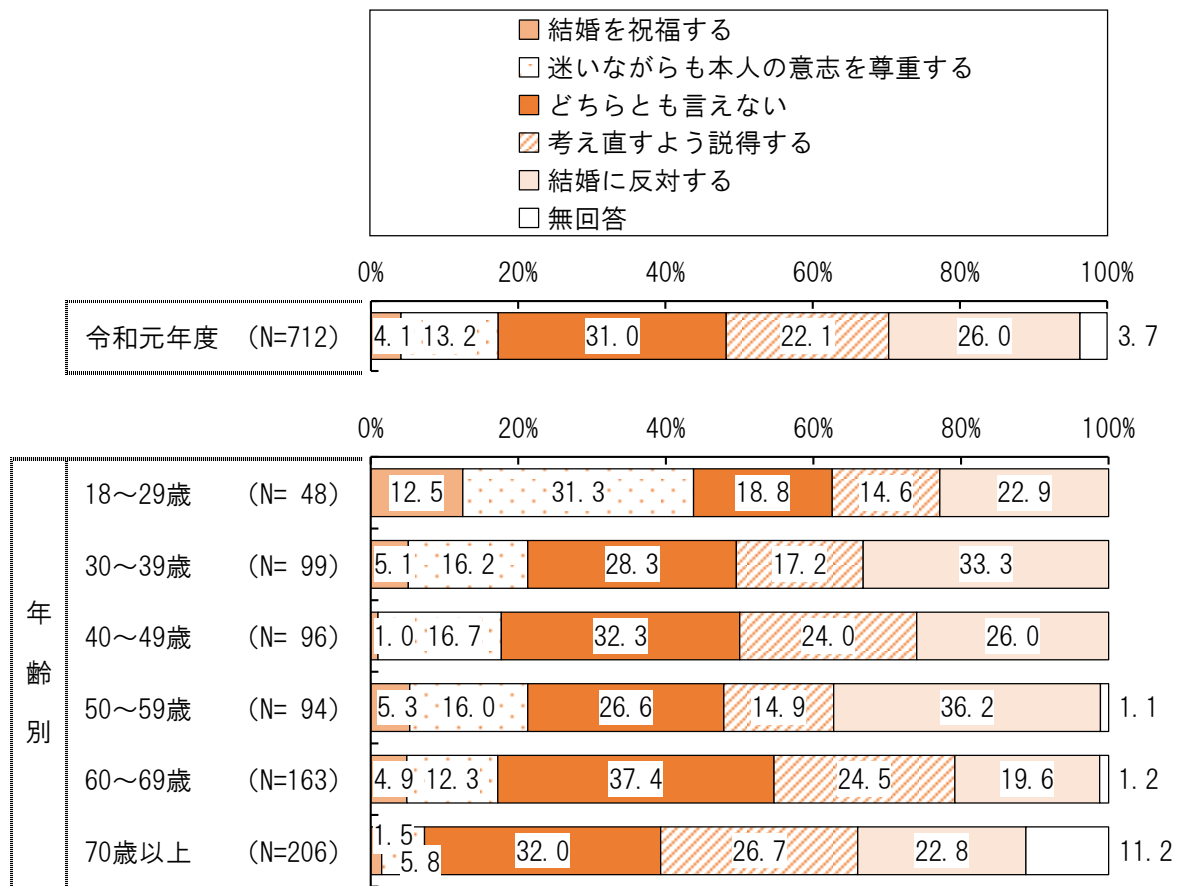


「迷いながらも本人の意志を尊重する」が36.9%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が32.3%、「考え直すよう説得する」が13.1%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「結婚を祝福する」は1.3ポイント減少しています。

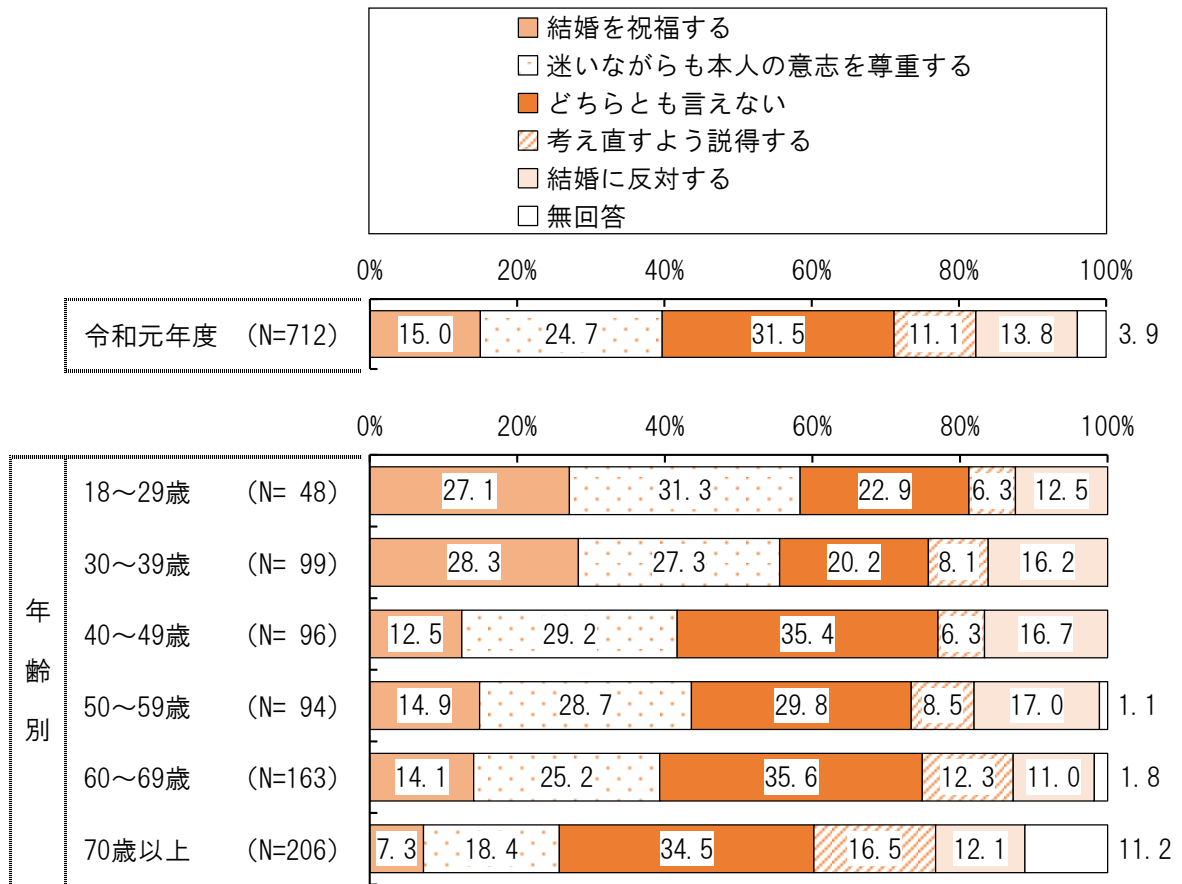
年齢別でみると、「結婚を祝福する」は30～39歳が13.1%、18～29歳が12.5%で他の年代と比べ高くなっています。

(4) HIV感染者



「どちらとも言えない」が31.0%と最も多く、次いで「結婚に反対する」が26.0%、「考え直すよう説得する」が22.1%などとなっています。
 年齢別でみると、「結婚を祝福する」と「迷いながらも本人の意志を尊重する」の合計は18～29歳が43.8%で他の年代と比べ高くなっています。

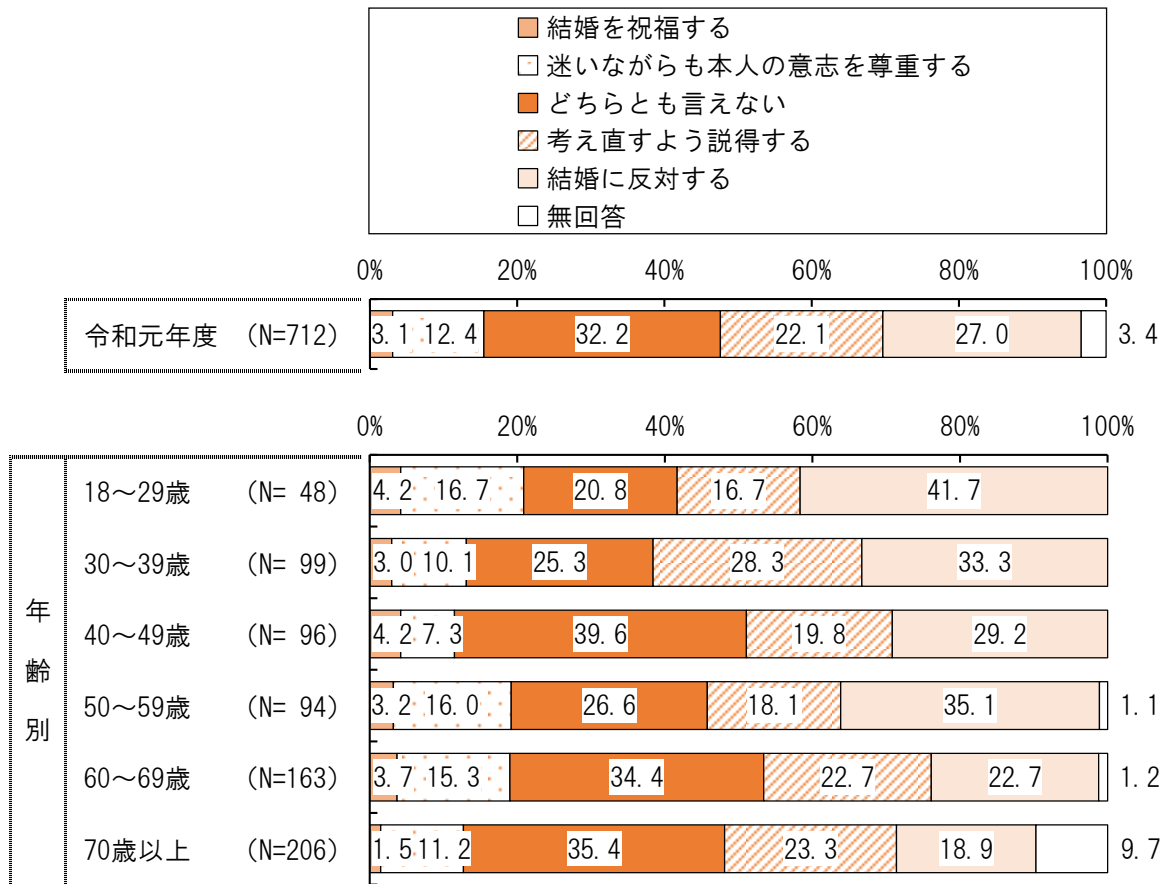
(5) 犯罪被害者やその家族



「どちらとも言えない」が31.5%と最も多く、次いで「迷いながらも本人の意志を尊重する」が24.7%、「結婚を祝福する」が15.0%などとなっています。

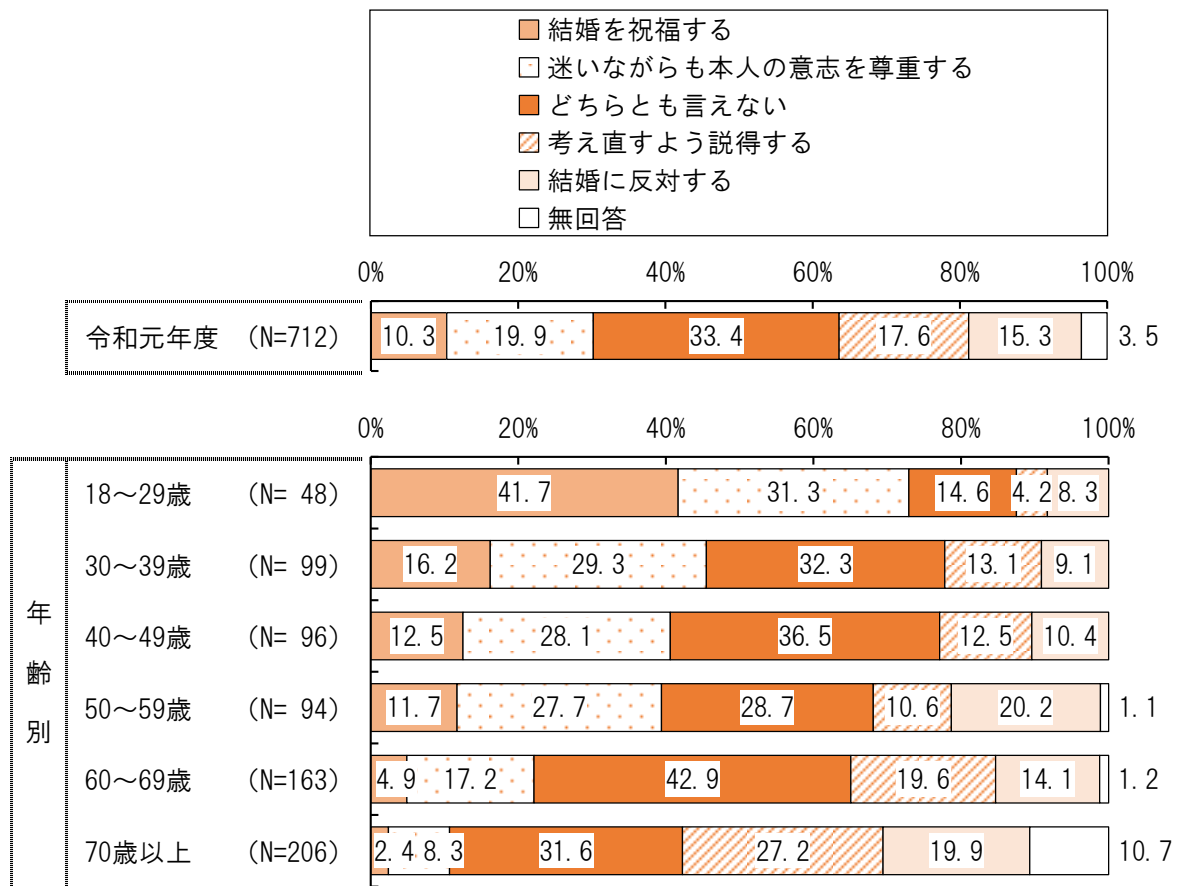
年齢別でみると、「結婚を祝福する」と「迷いながらも本人の意志を尊重する」の合計は18～29歳が58.4%、30～39歳が55.6%で他の年代と比べ高くなっています。

(6) 刑を終えて出所した人



「どちらとも言えない」が32.2%と最も多く、次いで「結婚に反対する」が27.0%、「考え直すよう説得する」が22.1%などとなっています。
 年齢別でみると、「結婚に反対する」は18～29歳が41.7%で他の年代と比べ高くなっています。

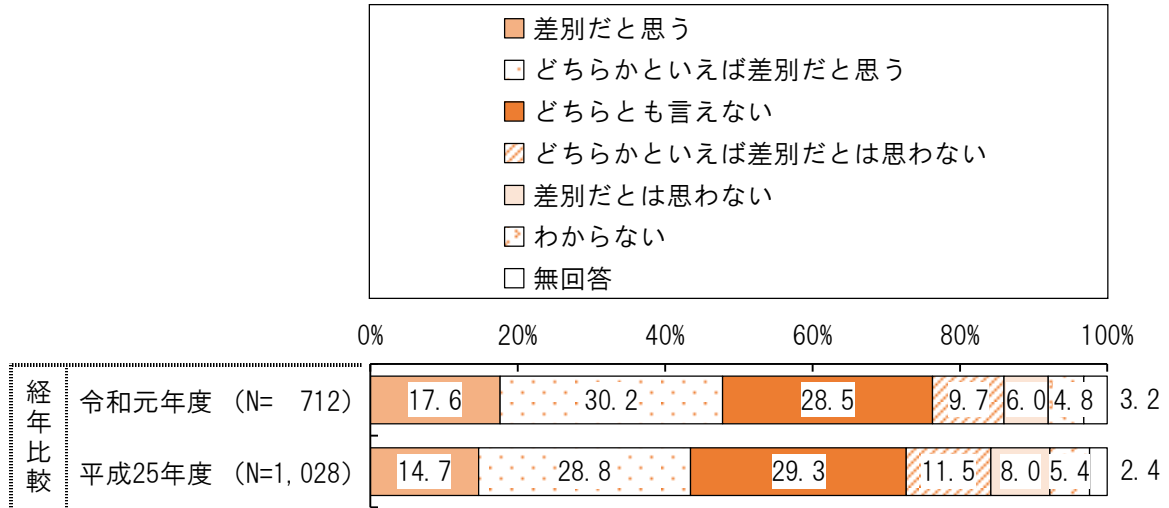
(7) LGBT等性的少数者



「どちらとも言えない」が33.4%と最も多く、次いで「迷いながらも本人の意志を尊重する」が19.9%、「考え直すよう説得する」が17.6%などとなっています。
 年齢別で見ると、年齢が上がるにつれて「結婚を祝福する」が減少傾向にあります。

問20 仕事をする能力と適性が十分あるにもかかわらず（１）～（６）の人が採用を拒否された場合、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つ）

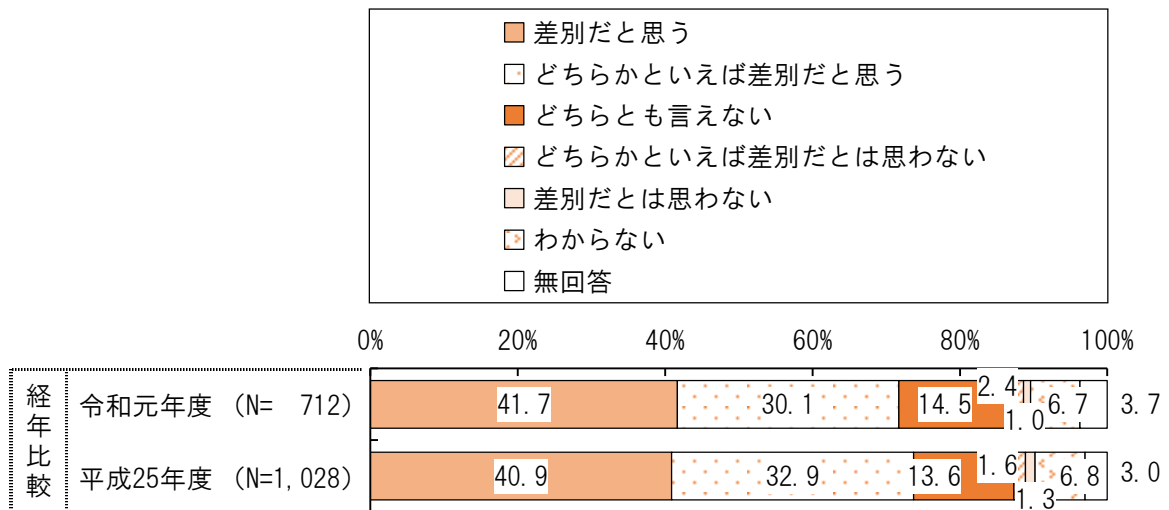
（１）精神疾患で通院している人



「どちらかといえば差別だと思う」が30.2%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が28.5%、「差別だと思う」が17.6%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は47.8%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は15.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「差別だと思う」は3.3ポイント増加し、「差別だとは思わない」は2.0ポイント減少しています。

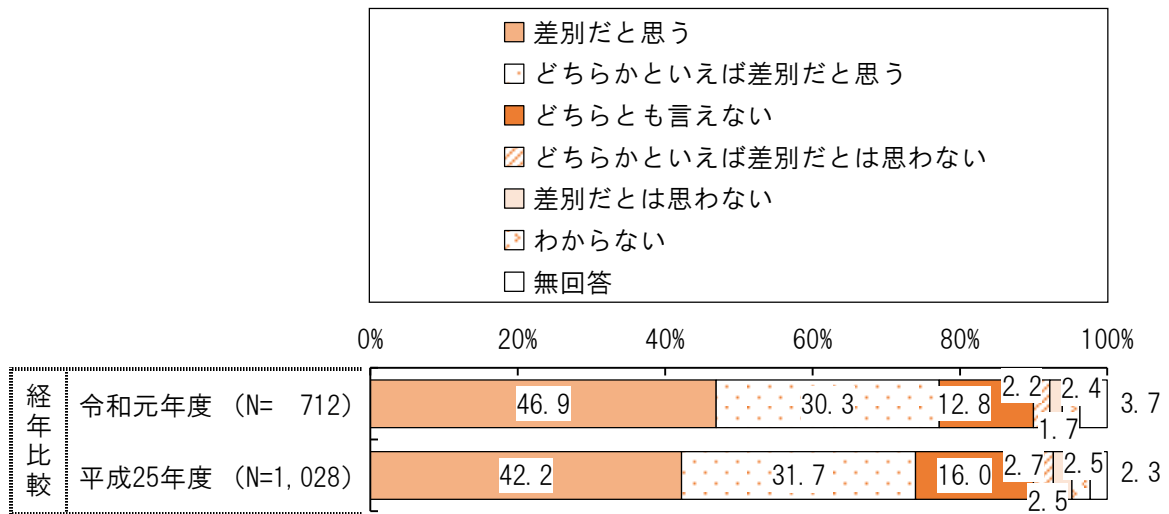
（２）同和地区出身の人



「差別だと思う」が41.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば差別だと思う」が30.1%、「どちらとも言えない」が14.5%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は71.8%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は3.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は2.0ポイント減少しています。

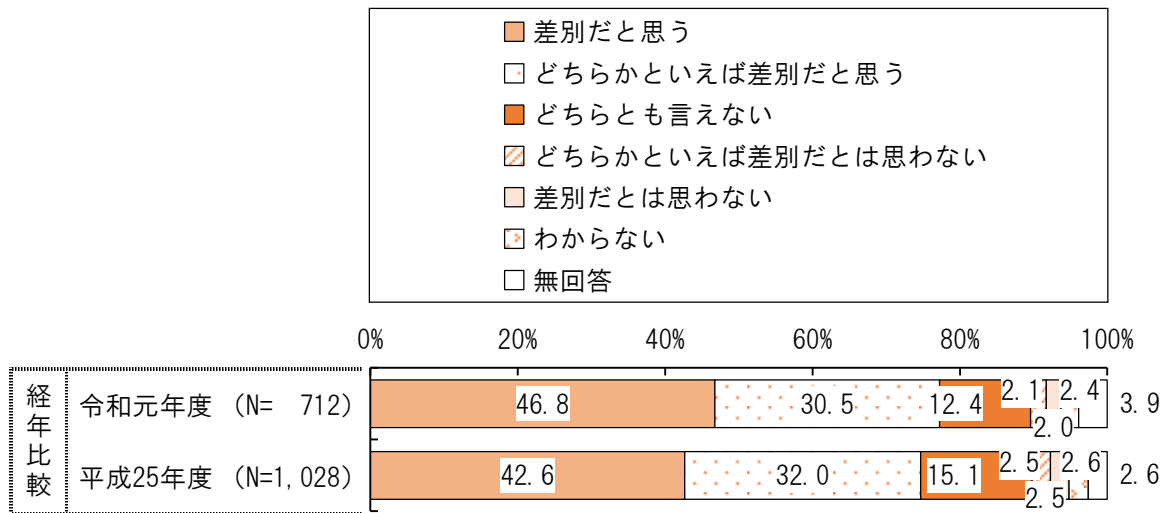
(3) 小さな子どもがいる母子家庭の母親



「差別だと思う」が46.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば差別だと思う」が30.3%、「どちらとも言えない」が12.8%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は77.2%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は3.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「差別だと思う」は4.7ポイント増加しています。

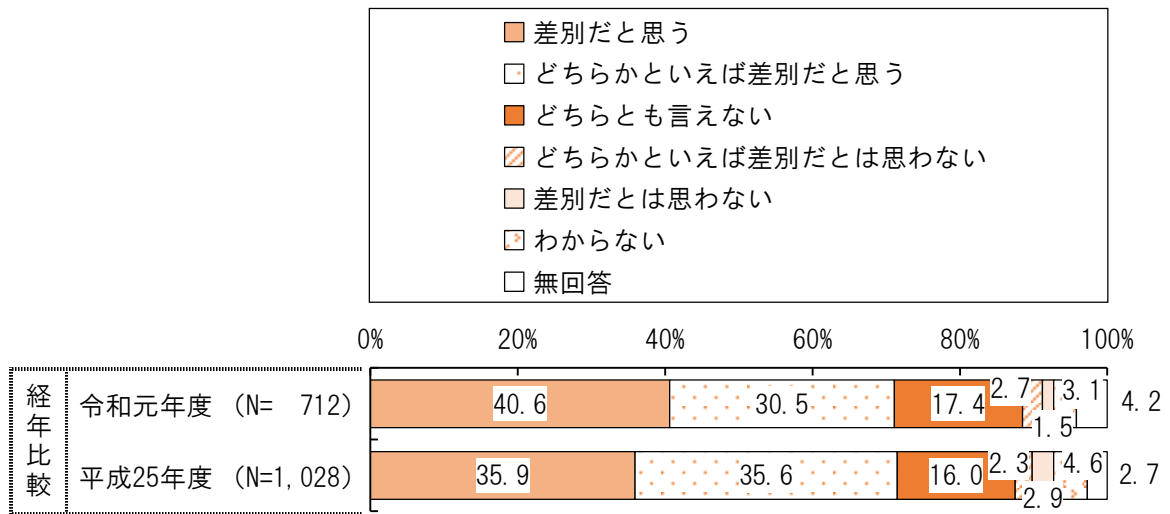
(4) 小さな子どもがいる父子家庭の父親



「差別だと思う」が46.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば差別だと思う」が30.5%、「どちらとも言えない」が12.4%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は77.3%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は4.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「差別だと思う」は4.2ポイント増加しています。

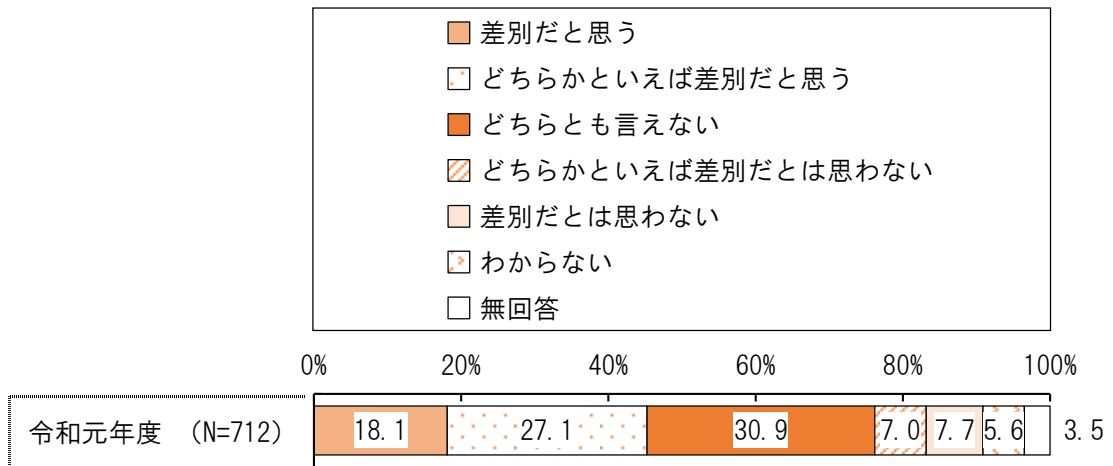
(5) 在日外国人



「差別だと思う」が40.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば差別だと思う」が30.5%、「どちらとも言えない」が17.4%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は71.1%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は4.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「差別だと思う」は4.7ポイント増加しています。

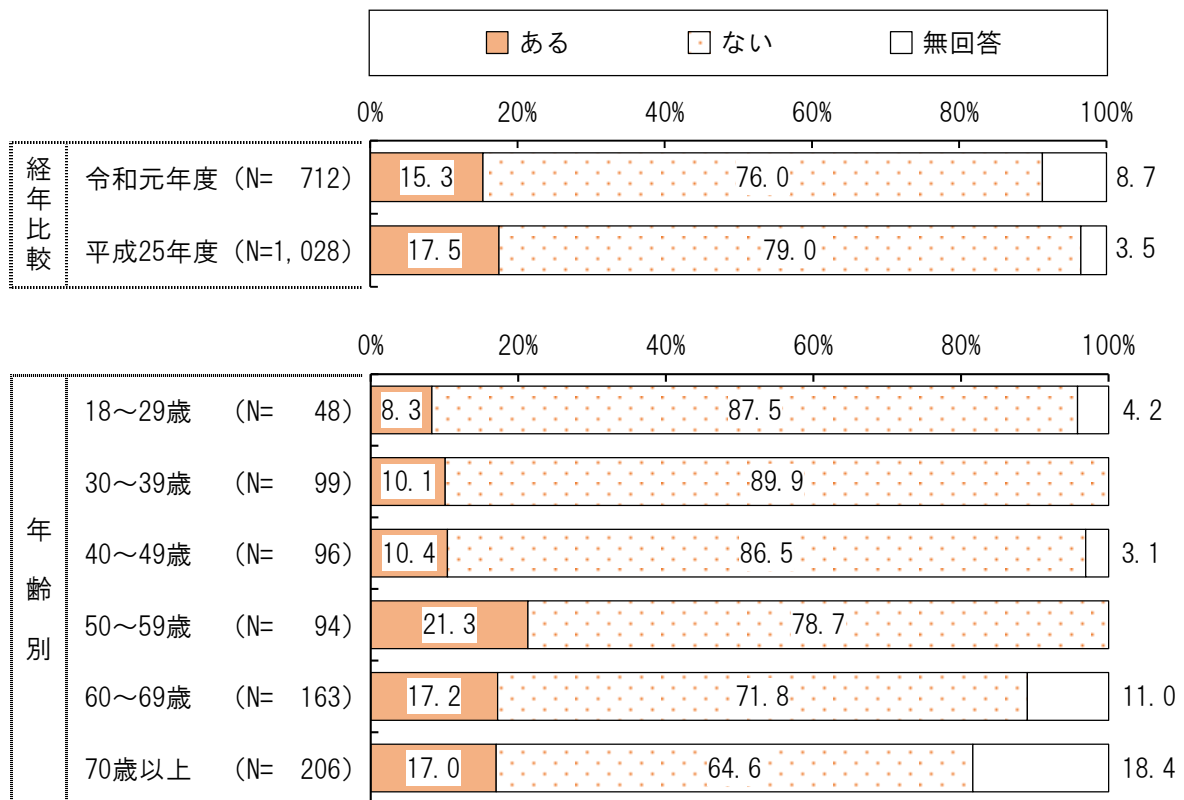
(6) 刑を終えて出所した人



「どちらとも言えない」が30.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば差別だと思う」が27.1%、「差別だと思う」が18.1%などとなっています。また、「差別だと思う」と「どちらかといえば差別だと思う」の合計は45.2%、「どちらかといえば差別だとは思わない」と「差別だとは思わない」の合計は14.7%となっています。

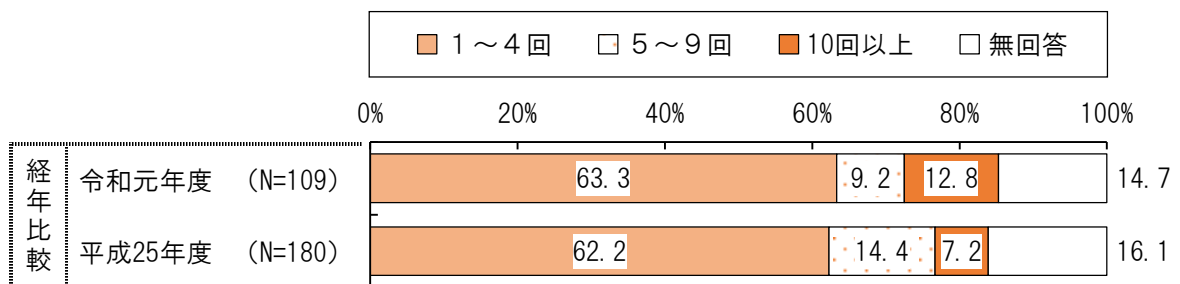
人権啓発・人権教育全般について

問21 あなたはこれまでに人権問題に関する研修会や講演会に参加したことがありますか。
「1. ある」「2. ない」のどちらかに○をつけてください。なお、「1. ある」を選んだ方は、①～③の参加回数にも○をつけてください。



「ある」が15.3%、「ない」が76.0%となっています。
平成25年度調査と比較すると、「ない」は3.0ポイント減少しています。
年齢別でみると、「ある」は50～59歳が21.3%で他の年代と比べ高くなっています。

人権問題に関する研修会や講演会への参加回数

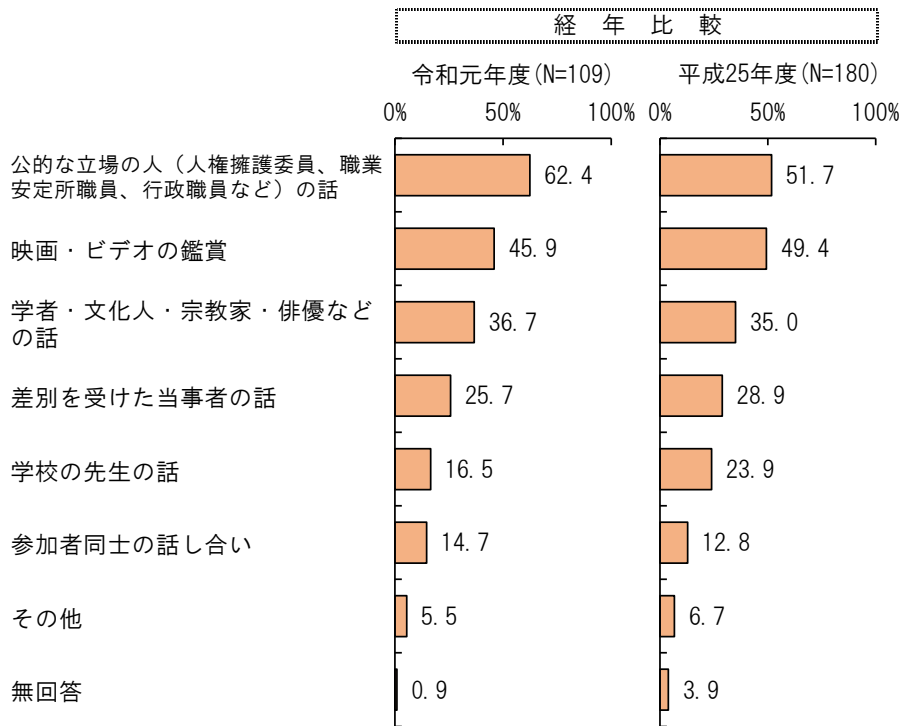


「1～4回」が63.3%と最も多く、次いで「10回以上」が12.8%、「5～9回」が9.2%となっています。
平成25年度調査と比較すると、「10回以上」は5.6ポイント増加しています。

問21で「1. ある」と答えた方にお聞きします

問21-1 あなたが参加した人権啓発・人権教育はどのようなものでしたか。

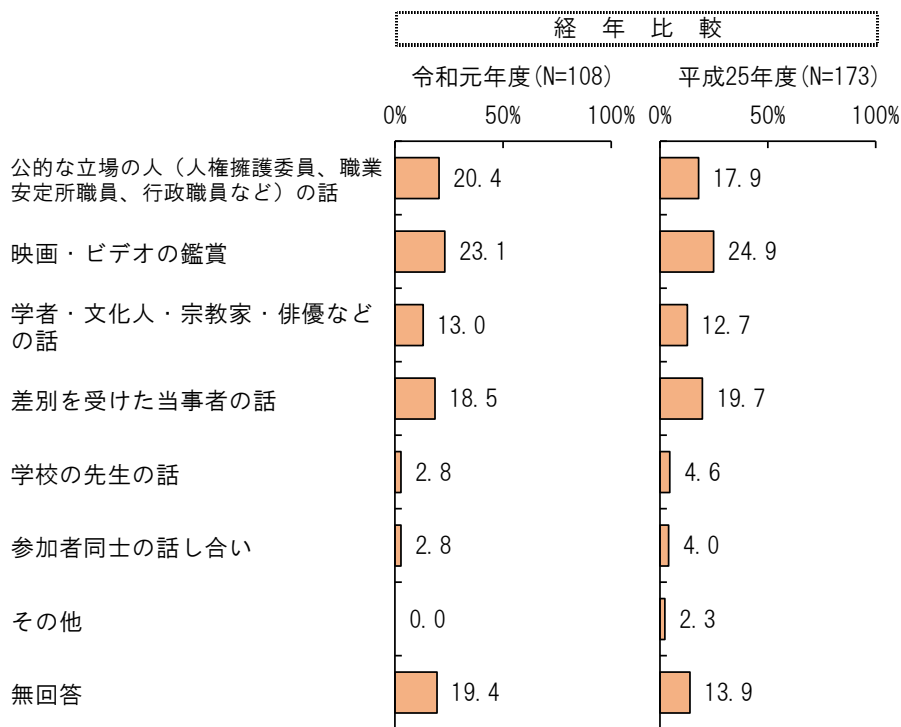
(当てはまるものすべてに○)



「公的な立場の人（人権擁護委員、職業安定所職員、行政職員など）の話」が62.4%と最も多く、次いで「映画・ビデオの鑑賞」が45.9%、「学者・文化人・宗教家・俳優などの話」が36.7%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「公的な立場の人（人権擁護委員、職業安定所職員、行政職員など）の話」は10.7ポイント増加し、「学校の先生の話」は7.4ポイント減少しています。

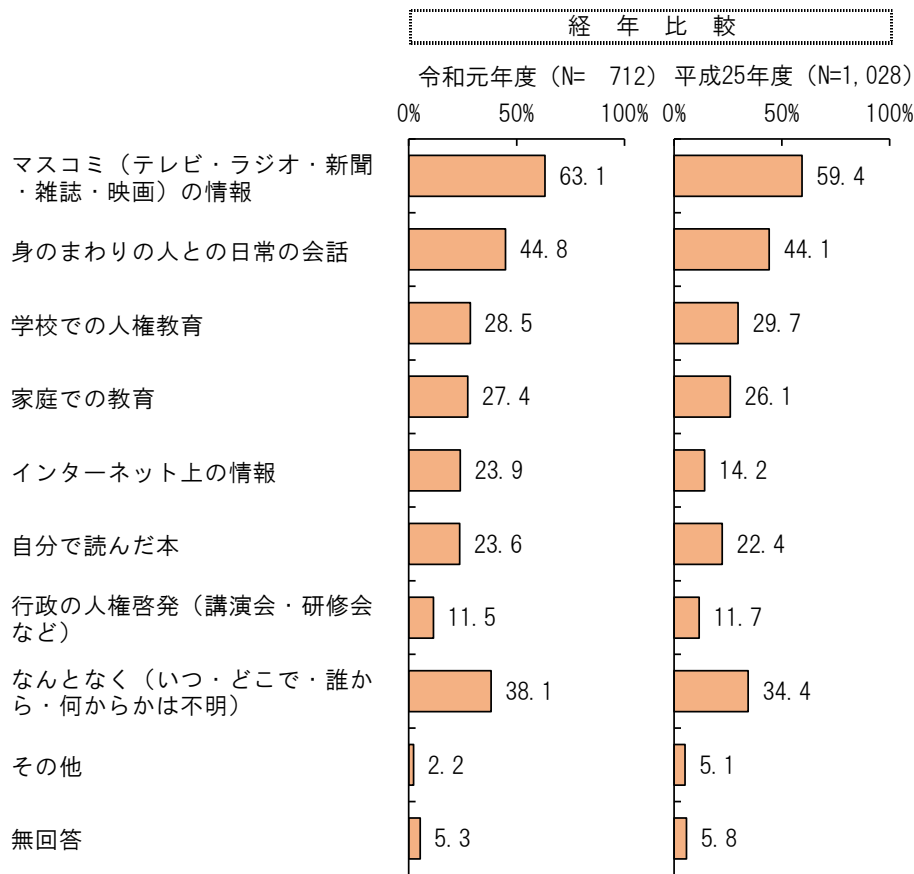
問21-2 問21-1で○をつけた中で最も印象が強かったのは何番ですか。（番号は1つ）



「映画・ビデオの鑑賞」が23.1%と最も多く、次いで「公的な立場の人（人権擁護委員、職業安定所職員、行政職員など）の話」が20.4%、「差別を受けた当事者の話」が18.5%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「公的な立場の人（人権擁護委員、職業安定所職員、行政職員など）の話」は2.5ポイント増加し、「映画・ビデオの鑑賞」や「学校の先生の話」は1.8ポイント減少しています。

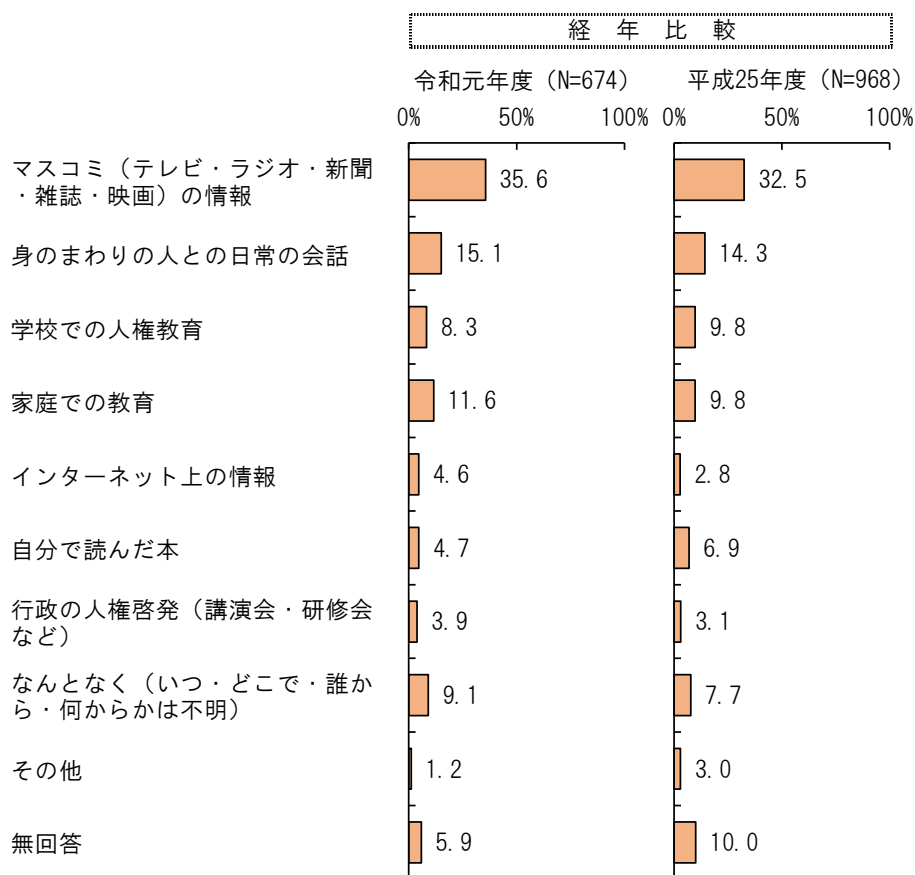
問22 あなたの人権に対する考え方は何から影響を受けていると思いますか。
(当てはまるものすべてに○)



「マスコミ (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・映画) の情報」が63.1%と最も多く、次いで「身のまわりの人との日常の会話」が44.8%、「なんとなく (いつ・どこで・誰から・何からかは不明)」が38.1%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「インターネット上の情報」は9.7ポイント、「マスコミ (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・映画) の情報」や「なんとなく (いつ・どこで・誰から・何からかは不明)」は3.7ポイント増加しています。

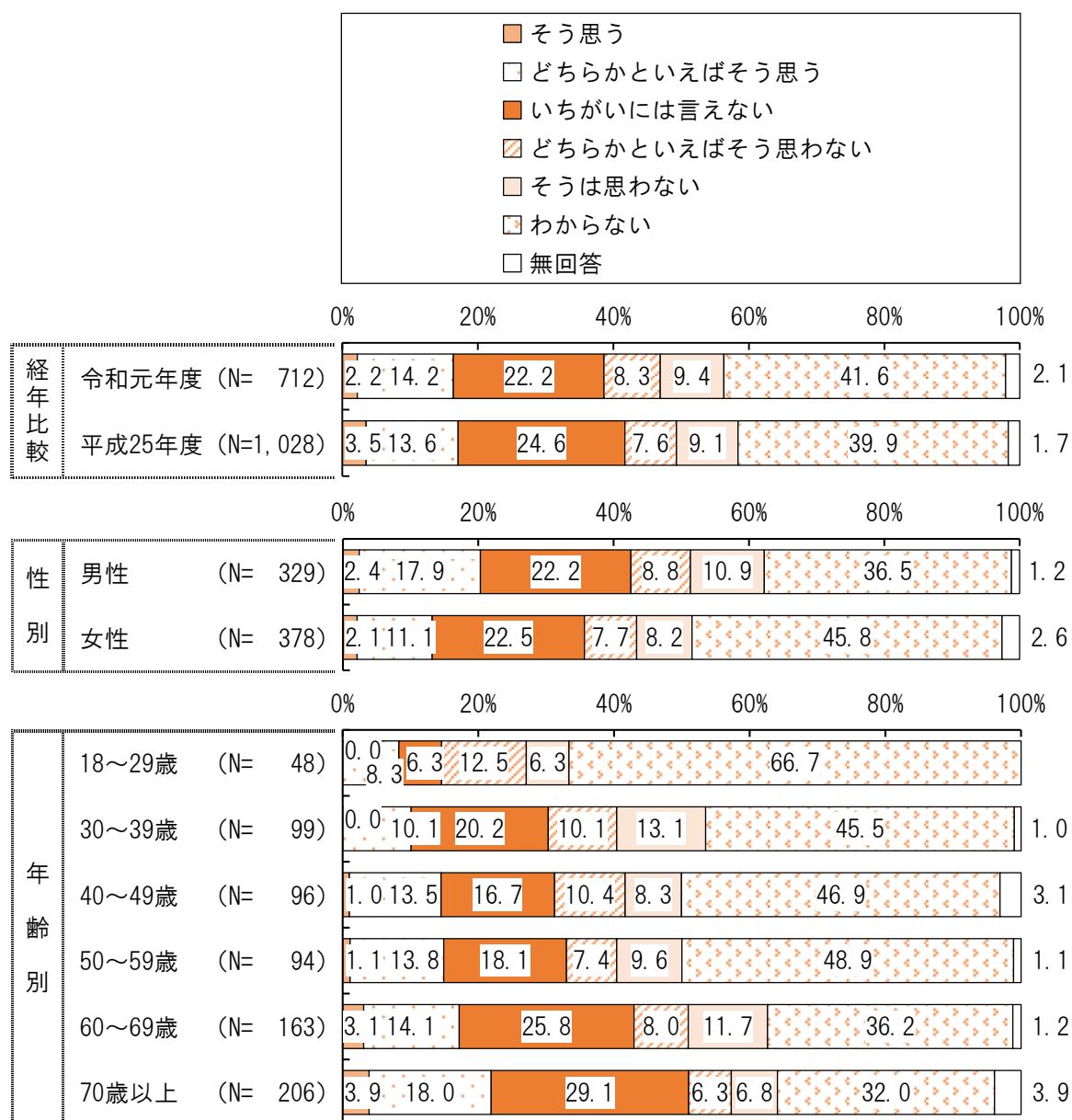
問22-1 問22で○をつけた中で最も影響を受けたと感じるものは何番ですか。(番号は1つ)



「マスコミ (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・映画) の情報」が35.6%と最も多く、次いで「身のまわりの人との日常の会話」が15.1%、「家庭での教育」が11.6%などとなっています。

平成25年度調査と比較すると、「マスコミ (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・映画) の情報」は3.1ポイント増加し、「自分で読んだ本」は2.2ポイント減少しています。

問23 袋井市は市民生活の中に人権尊重の意識が定着していると思いますか。(〇は1つ)



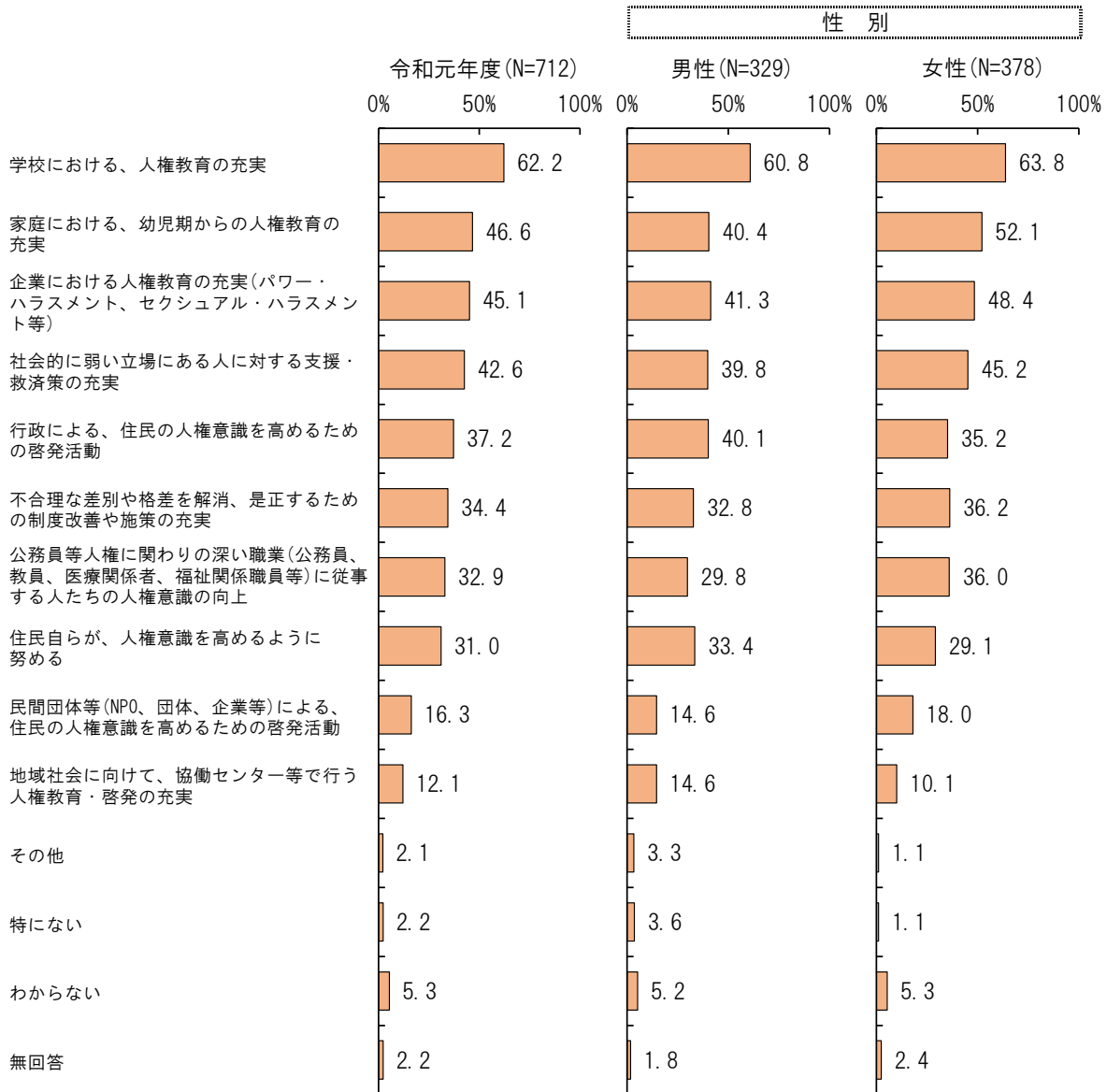
「わからない」が41.6%と最も多く、次いで「いちがいには言えない」が22.2%、「どちらかといえばそう思う」が14.2%などとなっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は16.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そうは思わない」の合計は17.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計や、「どちらかといえばそう思わない」と「そうは思わない」の合計に大きな差異は見られません。

性別でみると、「わからない」は、男性が36.5%、女性が45.8%で女性のほうが9.3ポイント上回り、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が20.3%、女性が13.2%で男性のほうが7.1ポイント上回っています。

年齢別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、年齢が上がるにつれて増加傾向にあります。

問24 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。(当てはまるものすべてに○)



「学校における、人権教育の充実」が62.2%と最も多く、次いで「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」が46.6%、「企業における人権教育の充実(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等)」が45.1%などとなっています。

性別でみると、「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は、男性が40.1%、女性が35.2%で男性のほうが4.9ポイント上回り、「地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実」は、男性が14.6%、女性が10.1%で男性のほうが4.5ポイント上回っています。一方で、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は、男性が40.4%、女性が52.1%で女性のほうが11.7ポイント上回り、「企業における人権教育の充実(パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等)」は、男性が41.3%、女性が48.4%で女性のほうが7.1ポイント上回っています。

(単位：%)

	サンプル数	学校における、人権教育の充実	家庭における、幼児期からの人権教育の充実	企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）	社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実	行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実	公務員等人権に関わりの深い職業に従事する人たちの人権意識の向上	住民自らが、人権意識を高めるように努める	民間団体等による、住民の人権意識を高めるための啓発活動	地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	712	62.2	46.6	45.1	42.6	37.2	34.4	32.9	31.0	16.3	12.1	2.1	2.2	5.3	2.2	
年齢別	18～29歳	48	58.3	56.3	37.5	54.2	31.3	35.4	16.7	25.0	12.5	6.3	4.2	0.0	6.3	0.0
	30～39歳	99	68.7	46.5	52.5	39.4	33.3	37.4	24.2	28.3	12.1	8.1	4.0	4.0	2.0	0.0
	40～49歳	96	62.5	52.1	53.1	43.8	35.4	38.5	30.2	29.2	12.5	10.4	1.0	1.0	8.3	2.1
	50～59歳	94	69.1	64.9	55.3	46.8	35.1	42.6	39.4	28.7	18.1	9.6	1.1	3.2	3.2	1.1
	60～69歳	163	64.4	39.9	47.2	41.7	41.1	31.3	33.1	34.4	16.6	15.3	3.1	1.8	3.1	1.8
	70歳以上	206	54.9	38.8	33.5	39.8	39.3	30.1	39.8	33.0	19.9	15.0	1.0	1.9	7.8	4.9

※ ■は全体より5ポイント以上高い、■は全体より5ポイント以上低い

年齢別でみると、18～29歳は全体と比較して「社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実」は11.6ポイント、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は9.7ポイント上回り、「公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上」は16.2ポイント、「企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）」は7.6ポイント下回っています。

30～39歳は全体と比較して「企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）」は7.4ポイント、「学校における、人権教育の充実」は6.5ポイント上回り、「公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上」は8.7ポイント、「民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は4.2ポイント下回っています。

40～49歳は全体と比較して「企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）」は8.0ポイント、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は5.5ポイント上回り、「民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は3.8ポイント下回っています。

50～59歳は全体と比較して「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は18.3ポイント、「企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）」は10.2ポイント、「不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実」は8.2ポイント上回り、「地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実」は2.5ポイント下回っています。

60～69歳は全体と比較して「行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は3.9ポイント、「住民自らが、人権意識を高めるように努める」は3.4ポイント上回り、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は6.7ポイント、「不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実」は3.1ポイント下回っています。

70歳以上は全体と比較して「公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上」は6.9ポイント、「民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動」は3.6ポイント上回り、「企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）」は11.6ポイント、「家庭における、幼児期からの人権教育の充実」は7.8ポイント下回っています。

III. 調査票

人権問題に関する市民意識調査

～ 調査ご協力のお願い～

市民の皆様には、日ごろから市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

袋井市では、市民の皆様一人ひとりに人権尊重の意識が定着するよう、様々な人権啓発・人権教育を実施しているところです。

このたび、人権啓発・人権教育を進める指針を策定するため、市民の皆様の人権に関する考え方をお聞かせいただきたいと考えております。

今回の調査は、市内にお住まいの満18歳以上の2,000人を無作為に選び、調査票を送付させていただいています。

調査票にご記入いただきましたら、同封の返信用封筒でご返送ください。お忙しいところ、お手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、この調査で、お答えいただいた個人のお名前やプライバシーに関わる内容が公表されることはありません。また、調査の目的以外には使用しませんので、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

令和元年11月 袋井市長 原田 英之

《 ご記入にあたってのお願い 》

- ◆個人に対する調査ですので、宛名のご本人がお答えください。
- ◆回答は、当てはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。また、質問ごとに回答数が指定されていますので、ご注意ください。
- ◆記入が終わりましたら、記入もれがないか再度確認し、同封の封筒に入れて、12月13日（金）までにご返送ください。
- ◆この調査について、ご不明な点がありましたら、下記へお問い合わせください。



〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1
袋井市市民生活部 しあわせ推進課 社会福祉係
電話 0538-44-3121 F A X 0538-43-6285

最初に基本的なことからお聞きします。

あなたの考えはA・Bの意見のどちらに近いですか。「Aに近い」から「Bに近い」までのうち当てはまる回答の番号に○をつけてください。

[問1] あなたはどんな社会が望ましいとお考えですか。(○はそれぞれ1つ)

A	Aに近い	ややAに近い	どちらとも言えない	ややBに近い	Bに近い	B
みんなが平等の社会がいい。	1	2	3	4	5	自由に競争できる社会がいい。
みんな同じと思える人たちと暮らしたい。	1	2	3	4	5	いろんな違いをもった人たちと暮らしたい。

[問2] 自分たちとは生まれや育ちが違う人たちに対してどのようにお考えですか。

(○はそれぞれ1つ)

A	Aに近い	ややAに近い	どちらとも言えない	ややBに近い	Bに近い	B
みんなで共に暮らしたい。	1	2	3	4	5	自分とは別のところで暮らしてほしい。
お互いの違いを認め合って共に生きていきたい。	1	2	3	4	5	できるだけまわりのみんなに合わせてほしい。

[問3] 暮らしに困っている人たちに対してどのようにお考えですか。(○は1つ)

A	Aに近い	ややAに近い	どちらとも言えない	ややBに近い	Bに近い	B
社会全体で助けるのがいい。	1	2	3	4	5	自分の責任でがんばってほしい。

次に、広く人権の問題についてお聞きします。

[問4] 次の(1)～(14)の人権問題についてどの程度関心がありますか。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)(1)～(14)以外に関心をお持ちの人権問題がある場合は、(15)に、具体的な内容について、ご記入ください。

	非常に 関心がある	ある 程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない	わからない
(1) 女性	1	2	3	4	5
(2) 子ども	1	2	3	4	5
(3) 高齢者	1	2	3	4	5
(4) 障がいのある人	1	2	3	4	5
(5) 同和地区住民・出身者	1	2	3	4	5
(6) アイヌの人々	1	2	3	4	5
(7) 外国人	1	2	3	4	5
(8) HIV感染者	1	2	3	4	5
(9) ハンセン病患者・元患者	1	2	3	4	5
(10) 犯罪被害者やその家族	1	2	3	4	5
(11) 刑を終えて出所した人	1	2	3	4	5
(12) インターネットによる人権侵害	1	2	3	4	5
(13) 拉致被害者やその家族	1	2	3	4	5
(14) L G B T (※) 等性的少数者(同性愛や性同一性障がいなど)	1	2	3	4	5
(15) その他の人権問題(具体的にお書きください。)					
[]					

(※) L G B Tとは、次の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つとして使われることもあります。Lesbian(レズビアン)：女性の同性愛者、Gay(ゲイ)：男性の同性愛者、Bisexual(バイセクシャル)：両性愛者、Transgender(トランスジェンダー)：身体の性と心の性が一致しない状態やどちらの性別にも違和感を持つ状態の人

[問5] あなたはこれまで自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

(○は1つ)

1. ある

2. ない → 【問6へ】

問5で「1. ある」と答えた方にお聞きます

[問5-1] 人権侵害であると感じたのはどのような行為ですか。

(当てはまるものすべてに○)

1. 他人から悪口・陰口を言われた
2. 面と向かって差別的な言葉を言われた
3. インターネットやメールなどで名誉や信用を傷つけられた
4. 暴力、脅迫、強要、虐待を受けた
5. 仲間はずれ・無視など、いじめを受けた
6. 公共機関や企業などで不当な扱いを受けた
7. 個人情報やプライバシーを侵害された
8. セクシャルハラスメント（性的ないやがらせ）を受けた
9. ドメスティック・バイオレンス（夫婦、恋人などの親しい関係間での暴力）を受けた
10. パワーハラスメント（職権などの優位性を背景に、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境などを悪化させる行為）を受けた
11. 体罰を受けた
12. ストーカー行為を受けた
13. いやがらせ・迷惑行為を受けた
14. その他（)

[問5-2] それはどのような理由によるものでしたか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------------|--------------|-----------|
| 1. 学歴 | 2. 職業 | 3. 収入・財産 |
| 4. 母子・父子家庭、両親がいないこと | | 5. 身体障がい |
| 6. 知的障がい | 7. 精神障がい | 8. 病気・病歴 |
| 9. 同和地区出身 | 10. 国籍・人種・民族 | 11. 思想・信条 |
| 12. 性別 | 13. 容姿・身なり | 14. 家柄 |
| 15. 逮捕・犯罪歴 | 16. 宗教 | 17. 年齢 |
| 18. 未婚・離婚・既婚 | 19. その他（) | |

[問5-3] 自己的人権を侵害されたと思ったとき、あなたはどのような行動をとりましたか。（当てはまるものすべてに○）

1. 相手に直接抗議した
2. 家族や友人に相談した
3. 近所の人や民生委員、人権擁護委員など、地域の人に相談した
4. 役所、警察など公的な機関に通報、相談した
5. 人権団体等に相談した
6. 新聞・テレビなどマスコミに連絡した
7. 特に何もしなかった
8. その他（)

次に、個々の人権問題についてお聞きします。

[問6] ある共働き家庭で妻が夫に「二人とも働いているのだからあなたも家事を半分やってください」と言ったとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
妻の言い分はもっともだ。 家事は夫婦で分担すべきだ。	1	2	3	4	5	妻の言い分はおかしい。 家事は女性がやるのが当然だ。

[問7] ある中学校で、生徒たちが校則を自分たちで決めたいと主張したとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
生徒の自主性を尊重するのがよい。	1	2	3	4	5	子どもにすべてまかせるのは行き過ぎだ。

[問8] ある病院で看護師が高齢者に、「おじいちゃん、お熱自分で計れるかな？」と小さい子どもに接するような言葉遣いで話しかけたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
親しみを感じさせるのでそのままがいい。	1	2	3	4	5	子どもに接するような言葉遣いは改めるべき。

[問 9] 精神障がい者の共同作業所の建設に伴い、「精神障がい者は何をするかわからない」と、近所に住む一部の住民から反対運動が起きたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
もっともだと思うので反対運動に同調する。	1	2	3	4	5	社会に必要な施設なので反対するのはおかしい。

[問 10] あなたの近所に在日外国人が家を作ることになり、生活習慣が違うという理由で、土地所有者に土地を売らないようにとの働きかけが地域内で始まったとします。あなたならどのような対応をしますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの対応をする	たぶんAの対応をする	どちらとも言えない	たぶんBの対応をする	Bの対応をする	B
もっともだと思うので反対意見に同調する。	1	2	3	4	5	外国人だからといって土地を売らないのはおかしいと言う。

[問 11] マイホームを建てるのに手頃な土地が見つかりましたが、知人から「あの土地は同和地区だから割安なのだ。購入は考え直したほうがいい」と言われたとします。あなたならどのような対応をしますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの対応をする	たぶんAの対応をする	どちらとも言えない	たぶんBの対応をする	Bの対応をする	B
予定どおり家を建てて住む。	1	2	3	4	5	土地の購入をやめる。

[問 12] 同和問題に関する(1)～(9)の意見についてあなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	そう 思う	そう 思う	どちらか といえは	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そう 思 わ な い	わ か ら な い
(1) 昔は部落に対する差別があったかもしれないが今はなくなっている。	1	2	3	4	5	6	
(2) そっとしておけば 部落差別は自然になくなっていく。	1	2	3	4	5	6	
(3) 同和問題は自分とは関係ない。	1	2	3	4	5	6	
(4) 差別を受けた人のくやしさは 人ごととは思えない。	1	2	3	4	5	6	
(5) 市民一人ひとりが自分の問題として 同和問題の解決に努力する必要がある。	1	2	3	4	5	6	
(6) 行政は同和問題に比べて ほかの人権問題をおろそかにしている。	1	2	3	4	5	6	
(7) 同和地区の人たちが差別撤廃の運動 に立ち上がり声をあげるのは当然だ。	1	2	3	4	5	6	
(8) 同和地区の人たちがばらばらにあちこちに 引越せば同和問題はなくなる。	1	2	3	4	5	6	
(9) 部落差別をなくすための運動が 様々な人々の人権意識を高めてきた。	1	2	3	4	5	6	

[問 13] 小学校、中学校及び高等学校の社会科の教科書には、歴史上の身分差別に関する
ことや同和問題に関することが書かれています。このことをご存じですか。当て
はまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

[問 14] 後遺症のあるハンセン病回復者がいる温泉旅館で「ほかのお客さんがいやがるの
で」と宿泊を断られたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはま
る回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの 考えに 近い	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	B の 考 え に 近 い	B の 考 え に 近 い	B
温泉旅館の対応は 当然だ。	1	2	3	4	5	温泉旅館の対応は 誤っている。

[問 15] ある事件に関して、報道により犯罪被害者やその家族のプライバシーに関することが公表されたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
事件に関わっている以上仕方のないことだと思う。	1	2	3	4	5	犯罪被害者のプライバシーが侵害されるのはおかしいと思う。

[問 16] インターネット上に、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあったとします。このような書き込みについて、あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	どちらかといえばBの考えに近い	Bの考えに近い	B
書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う。	1	2	3	4	5	書いてある内容が事実かどうかに関わらず、許されない人権侵害だと思う。

[問 17] LGBT (※) 等性的少数者に関することで、次の事例のうち、あなたが特に問題だと思う事例は何ですか。(当てはまるもの3つ以内に○)

1. 男性らしさ、女性らしさを求められる
2. 社会的理解が低く、世間から偏見の目で見られる
3. 身体の性と心の性が一致しない人に対応した設備(トイレ、更衣室)が整っていない
4. 嫌がらせやいじめ、差別的な言動を受ける
5. 就職や職場で不利な扱いを受ける
6. 地域社会や職場、家庭、学校などで孤立した状態に置かれる
7. 法律や制度が不十分であったり、整備されていない
8. 周囲の偏見を恐れ、誰にも相談できない
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

(※) LGBTの説明は、3ページにあります。

[問 18] 家族に結婚の話がもちあがったところ、親戚から「長いつきあいになるのだから念のために相手の家について調べたほうがいい」と言われたとします。あなたの考えはどちらに近いですか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。

(○は1つ)

A	Aの考えに近い	どちらかといえばAの考えに近い	どちらとも言えない	Bの考えに近い	どちらかといえばBの考えに近い	B
もっともな話なので相手の家を調べる。	1	2	3	4	5	本人同士のことなので相手の家を調べない。

[問 19] あなたのごく身近な肉親（子どもや孫、兄弟姉妹など）に次の(1)～(7)の相手との結婚の話がもちあがったとします。あなたならどのような態度をとると思いますか。当てはまる回答の番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	結婚を祝福する	尊重する	迷いながらも本人の意志を	言えない	どちらとも	考え直すよう説得する	結婚に反対する
(1) 同和地区出身の人	1	2	3	4	5		
(2) 在日外国人	1	2	3	4	5		
(3) 障がいのある人	1	2	3	4	5		
(4) HIV感染者	1	2	3	4	5		
(5) 犯罪被害者やその家族	1	2	3	4	5		
(6) 刑を終えて出所した人	1	2	3	4	5		
(7) L G B T 等性的少数者	1	2	3	4	5		

[問 20] 仕事をする能力と適性が十分あるにもかかわらず(1)～(6)の人が採用を拒否された場合、あなたはどのように思いますか。あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	差別だと思 う	差別だと思 う どちらかとい えば	どちらとも 言えない	差別だと思 わない どちらかとい えば	差別だと思 わない	わからない
(1) 精神疾患で通院している人	1	2	3	4	5	6
(2) 同和地区出身の人	1	2	3	4	5	6
(3) 小さな子どもがいる母子家庭の母親	1	2	3	4	5	6
(4) 小さな子どもがいる父子家庭の父親	1	2	3	4	5	6
(5) 在日外国人	1	2	3	4	5	6
(6) 刑を終えて出所した人	1	2	3	4	5	6

人権啓発・人権教育全般についてお聞きします。

[問 21] あなたはこれまでに人権問題に関する研修会や講演会に参加したことがありますか。「1. ある」「2. ない」のどちらかに○をつけてください。なお、「1. ある」を選んだ方は、①～③の参加回数にも○をつけてください。

1. ある (参加回数 ①1～4回 ②5～9回 ③10回以上)
2. ない → 【問22へ】

問 21 で「1. ある」と答えた方にお聞きします

[問 21-1] あなたが参加した人権啓発・人権教育はどのようなものでしたか。
(当てはまるものすべてに○)

1. 差別を受けた当事者の話
2. 学者・文化人・宗教家・俳優などの話
3. 学校の先生の話
4. 公的な立場の人(人権擁護委員、職業安定所職員、行政職員など)の話
5. 映画・ビデオの鑑賞
6. 参加者同士の話し合い
7. その他(具体的に)

[問 21-2] 問 21-1 で○をつけた中で最も印象が強かったのは何番ですか。(番号は1つ)

() 番

[問 22] あなたの人権に対する考え方は何から影響を受けていると思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

1. 学校での人権教育
2. 行政の人権啓発（講演会・研修会など）
3. 家庭での教育
4. 自分で読んだ本
5. マスコミ（テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・映画）の情報
6. インターネット上の情報
7. 身のまわりの人との日常の会話
8. なんとなく（いつ・どこで・誰から・何からかは不明）
9. その他（具体的に)

[問 22-1] 問 22 で○をつけた中で最も影響を受けたと感じるものは何番ですか。
(番号は1つ)

() 番

[問 23] 袋井市は市民生活の中に人権尊重の意識が定着していると思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. いちがいには言えない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そうは思わない | 6. わからない |

[問 24] 人権が尊重される社会を実現するために、あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

1. 行政による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
2. 民間団体等（NPO、団体、企業等）による、住民の人権意識を高めるための啓発活動
3. 住民自らが、人権意識を高めるように努める
4. 家庭における、幼児期からの人権教育の充実
5. 学校における、人権教育の充実
6. 地域社会に向けて、協働センター等で行う人権教育・啓発の充実
7. 企業における人権教育の充実（パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等）
8. 公務員等人権に関わりの深い職業（公務員、教員、医療関係者、福祉関係職員等）に従事する人たちの人権意識の向上
9. 社会的に弱い立場にある人に対する支援・救済策の充実
10. 不合理な差別や格差を解消、是正するための制度改善や施策の充実
11. その他（具体的に：)
12. 特にない
13. わからない

最後に、あなたのことについてお聞きします。

それぞれの質問について当てはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

[問 25] あなたの性別は？

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

[問 26] あなたの年齢は？

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 18歳、19歳 | 2. 20～29歳 |
| 3. 30～39歳 | 4. 40～49歳 |
| 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | |

[問 27] あなたのお仕事は次のどれに当たりますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経営者・役員 | 2. 常時雇用されている一般従業員 |
| 3. 臨時雇用・パート・アルバイト | 4. 派遣社員 |
| 5. 契約社員・嘱託 | 6. 自営業主・自由業者 |
| 7. 家族従業者 | 8. 内職 |
| 9. 無職、専業主婦(夫)、学生 | |

[問 28] 袋井市が今まで以上に人権尊重の意識が定着した住みよいまちになるために推進すべき施策について、ご意見がありましたら、どんなことでもけっこうですでお書きください。

記入もれがないかご確認いただきましたら、同封の封筒に入れて、12月13日(金)までに投かんしてください。



最後までご協力いただき、ありがとうございました。

令和元年度
人権問題に関する市民意識調査報告書

令和2年1月

〒437-8666 静岡県袋井市新屋1丁目1番地の1
袋井市役所 しあわせ推進課
TEL : 0538-44-3121 FAX : 0538-43-6285